

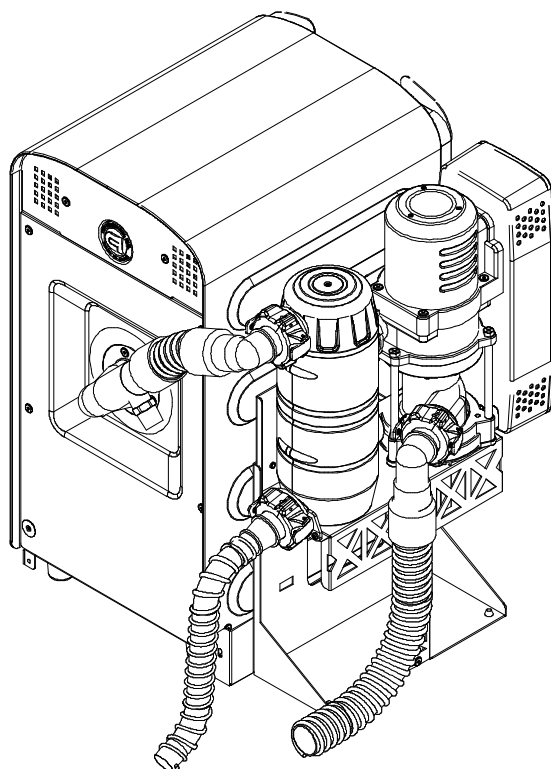
歯科診療用サクション
歯科用吸引器 TCS-TS

TS2

自動排水機能付き

取付要領書

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



このたびは、『歯科用吸引器 TCS-TS』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。




- 正しく取り付けして頂く為に、必ず取り付け前にこの取付要領書と取扱説明書をお読みください。
- この取付要領書と取扱説明書の ⚠ 警告、⚠ 禁忌・禁止、⚠ 注意を厳守してください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 専門の担当者(当社又は当社指定の業者)が取り付けを行ってください。

正しく使って効率アップ

| | |
|---------------------|-------|
| ■機器の表示記号 | 3 |
| ■安全上のご注意 | 3～4 |
| ■輸送及び保管に関する環境条件について | 5 |
| ■外観寸法 | 5 |
| ■梱包内容 | 6～7 |
| ■各部名称 | 8～13 |
| ■配置条件 | 14～15 |
| ■取付方法 | 16～30 |
| ■仕様 | 31 |

機器の表示記号




機器に表示されているマークについて、下記を参照すること。

| | |
|---|---------------|
|  | 単相交流を意味しています。 |
|  | ヒューズを意味しています。 |
|  | 保護接地を意味しています。 |



安全上のご注意

本書ではお使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

- 安全に関わる注意事項を、その危険の大きさの程度によって、次のように区分して説明しています。

| | |
|--|--|
|  警告 | この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。 |
|  禁忌・禁止 | 「特別な事情により本医療機器を適用すべきでない患者についての情報」、「使用目的や適応患者等、製造販売業者の責任範囲を超える不適切な使用方法」、「併用してはならない医療機器」を示しています。 |
|  注意 | この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害が想定される内容」を示しています。 |

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分して説明しています。

| | |
|---|---------------------------|
|  | してはいけない禁止事項を示しています。 |
|  | 必ず実行していただく強制・指示事項を示しています。 |

警告

- ・ 機器を接地しないで使用すると感電の危険がある。

禁忌・禁止

- ・ 専門の業者以外は、本装置の取り付け・据え付けを行わないこと。
- ・ 本装置の吸引が常時「密閉」状態で使用しないこと。
- ・ 有機溶剤（レジン液、アルコールなど）を吸引しないこと。[火災、故障の防止]
- ・ 治療の目的以外に使用しないこと。（本装置は歯科診療用サクションです）
- ・ 当社指定以外の分離器を使用しないこと。
- ・ 大きな衝撃を加えないこと。

注意

- ・ 発泡性のあるクリーナーは吸引させないこと。
- ・ 歯面研磨剤などの非水溶性パウダーは吸引させないこと。
- ・ 運転中及び停止後は、外装が熱くなっている為、注意すること。
- ・ 異常・故障時には直ちに使用を中止すること。
- ・ お手入れの際は設備側の電源を OFF またはコンセントから電源プラグを外してから作業すること。
- ・ 傾斜の無い場所で使用すること。
- ・ 機器の改造はしないこと。
- ・ タービンによる注水、口腔内の唾液及び血液以外を吸引させないこと。
- ・ 本書および取扱説明書に記載の箇所以外のドライバーおよび工具を使用した「分解」はしないこと。
- ・ 不具合状態で使用しないこと。
- ・ 未整備状態での使用はしないこと。（未整備状態とは、定期点検や日常点検を行っていない状態）

下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

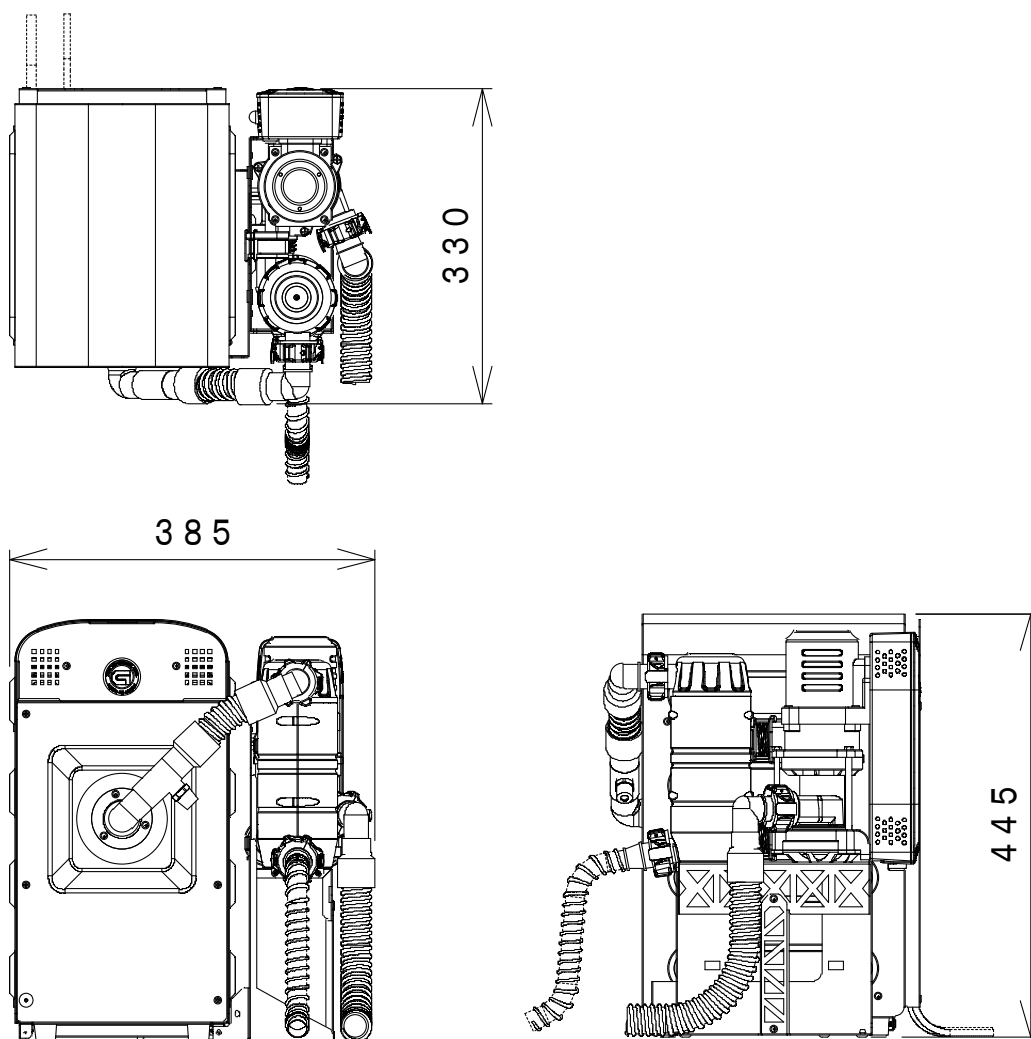
- ① 当社または当社の指定した業者以外による改造・保守及び修理。
- ② 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷。
- ③ 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理。
- ④ 本取付要領書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合。
- ⑤ 本取付要領書に記載されている電源・設置環境など、本装置の使用条件を逸脱した周囲条件による場合。
- ⑥ 火災・天災（地震・水害・落雷等）の場合。

輸送及び保管に関する環境条件について

輸送及び保管に関しては下記の内容に注意してください。

- ①傾斜、振動、衝撃などの無いように輸送及び保管を行うこと。
- ②水がかからないように輸送及び保管を行うこと。
- ③気圧、風通し、日光、埃、鉄分、硫黄分を含んだ空気などにより、悪影響のない場所に輸送及び保管を行うこと。
- ④CFG セパレータ (TS2) 内に水及び液体などが無いことを確認の上、輸送及び保管を行うこと。
また、輸送時は CFG セパレータ (TS2) を TS2 本体から外し輸送すること。
- ⑤化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないこと。
- ⑥周囲温度範囲-10℃から 40℃、相対湿度 20%から 90% (非結露) の範囲で輸送及び保管すること。

外観寸法



単位：mm

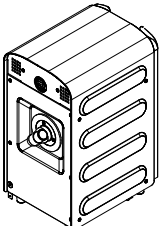
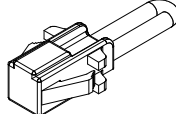
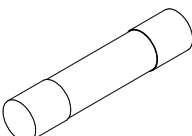
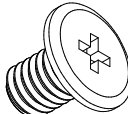
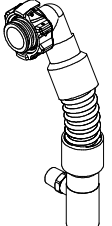
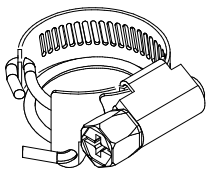
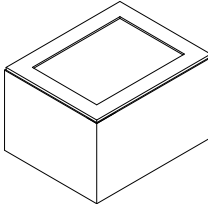
梱包内容

開封後、下記内容が揃っていることを必ず最初に確認してください。

◆梱包構成

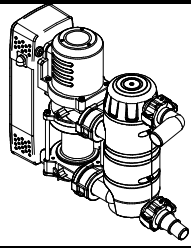
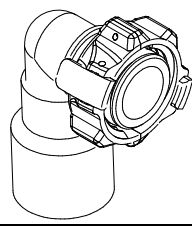
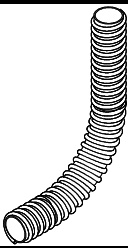
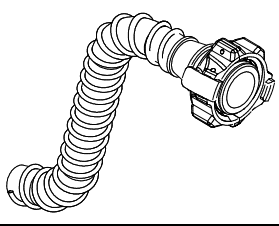
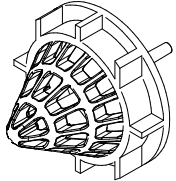
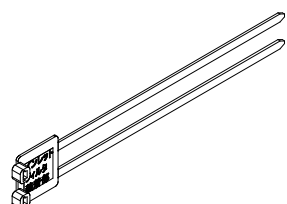
- ①TS2 本体梱包箱
- ②CFG セパレータ (TS2) 本体梱包箱
- ③CFG スタンド梱包箱
- ④2 口仕様吸引ホースセット
- ⑤横置き仕様分離器ホースセット
- ⑥付属文書

◆梱包内容

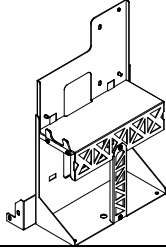

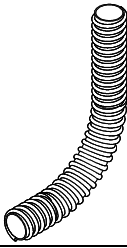
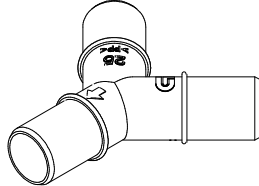
| ①TS2 本体梱包箱 | | | |
|--|--|---|---|
|  |  |  |  |
| TS2 本体 ×1 台 | 分離器線短絡コネクタ※1, 2 ×1 個 | TS ヒューズ (10A) ※2 ×2 本 (予備) | 低頭ネジ ※2 ×2 個 (予備) |
|  |  |  | |
| CFG リリーパルプ付 分離器ホース ×1 本 | スパイラルバンド ×5 個 | スーパーバイオ フィルタ (TS) ×1 個 (搭載) | |

※1 分離器短絡コネクタは、CFG セパレータ (TS2) のサブ分離器中継線と接続し、リミットスイッチの故障時やサブ分離器を外して運転する際に使用します。



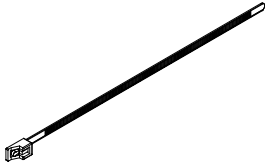
※2 分離器短絡コネクタ、TS ヒューズ (10A)、低頭ネジは TS2 本体のパネルカバー裏面に保管されています。

| ②CFG セパレータ (TS2) 本体梱包箱 | | | |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| CFG セパレータ (TS2) ×1 台 | CFG 吸引ホース (エルボホース継手) ×1 個 | CFG 吸引ホース (φ25 ホース) 1.8m ×1 本 | CFG 排水ホース 1.5m ×1 本 |
|  |  | | |
| インレットフィルタ ×1 個 +1 個 (予備) | インレットフィルタ 装着部表示バンド ×1 本 | | |

梱包内容

| ③CFG スタンド梱包箱 | | ④2口仕様吸引ホースセット | |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| CFG スタンド ×1個 | ネジ M4×8 ×3個 +1個(予備) | 2口仕様吸引ホース (φ25 ホース)1.8m ×1本 | Y25 継手 ×1個 |

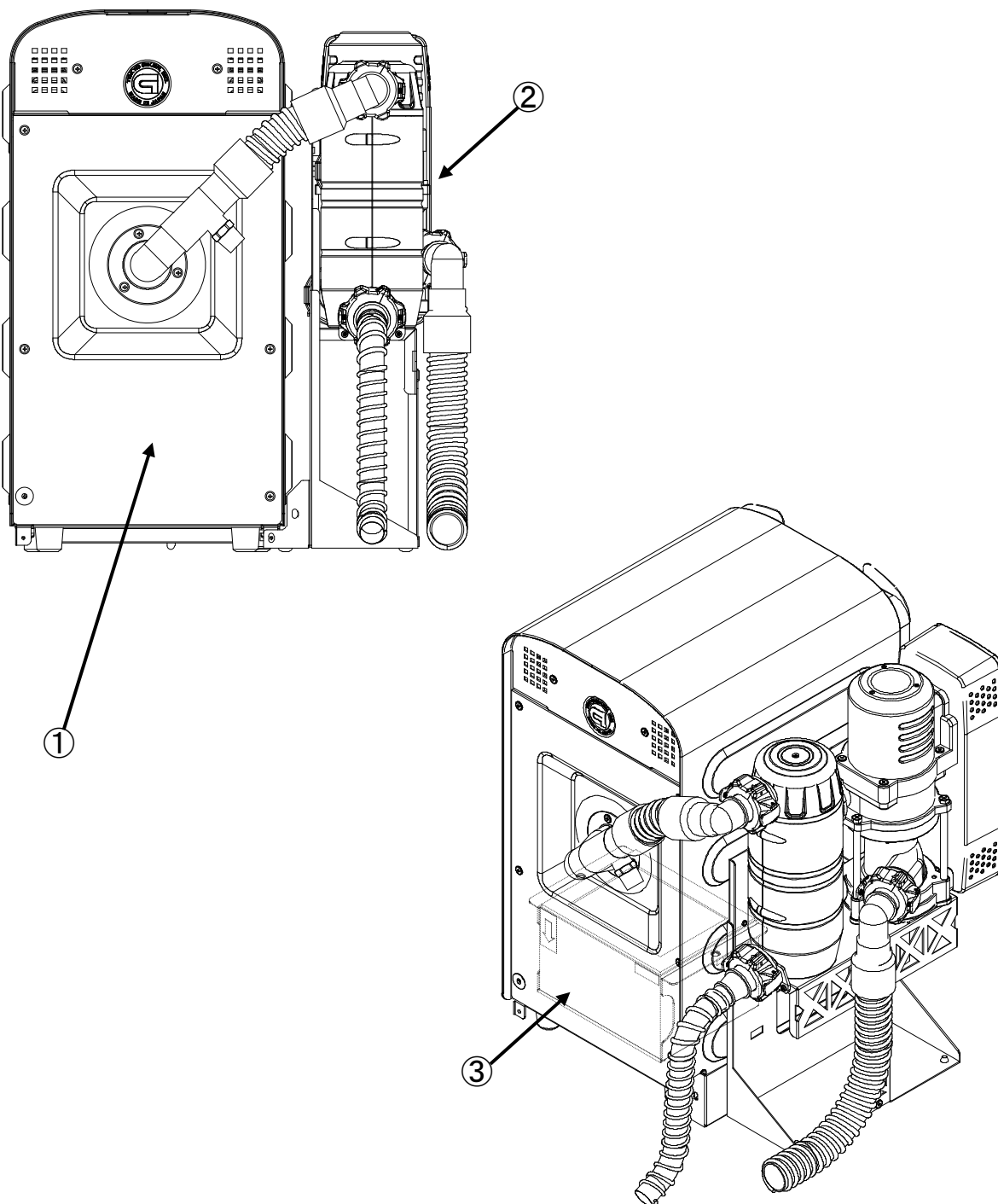
| ⑤横置き仕様分離器ホースセット | | |
|---|---|--|
|  |  |  |
| 横置き仕様分離器ホース (φ25 ホース)1.0m ×1本 | 横置き仕様分離器ホース (エルボホース継手) ×1個 | 横置き仕様分離器ホース (25 ホースカフス) ×1個 |

| ⑥付属文書 | | |
|---|---|--|
|  |  |  |
| 保証登録用紙 ×1枚 | 取扱説明書 ×1冊 | 結束バンド ×1本(予備) |

※3 添付文書は単独で包装されています。

各部名称

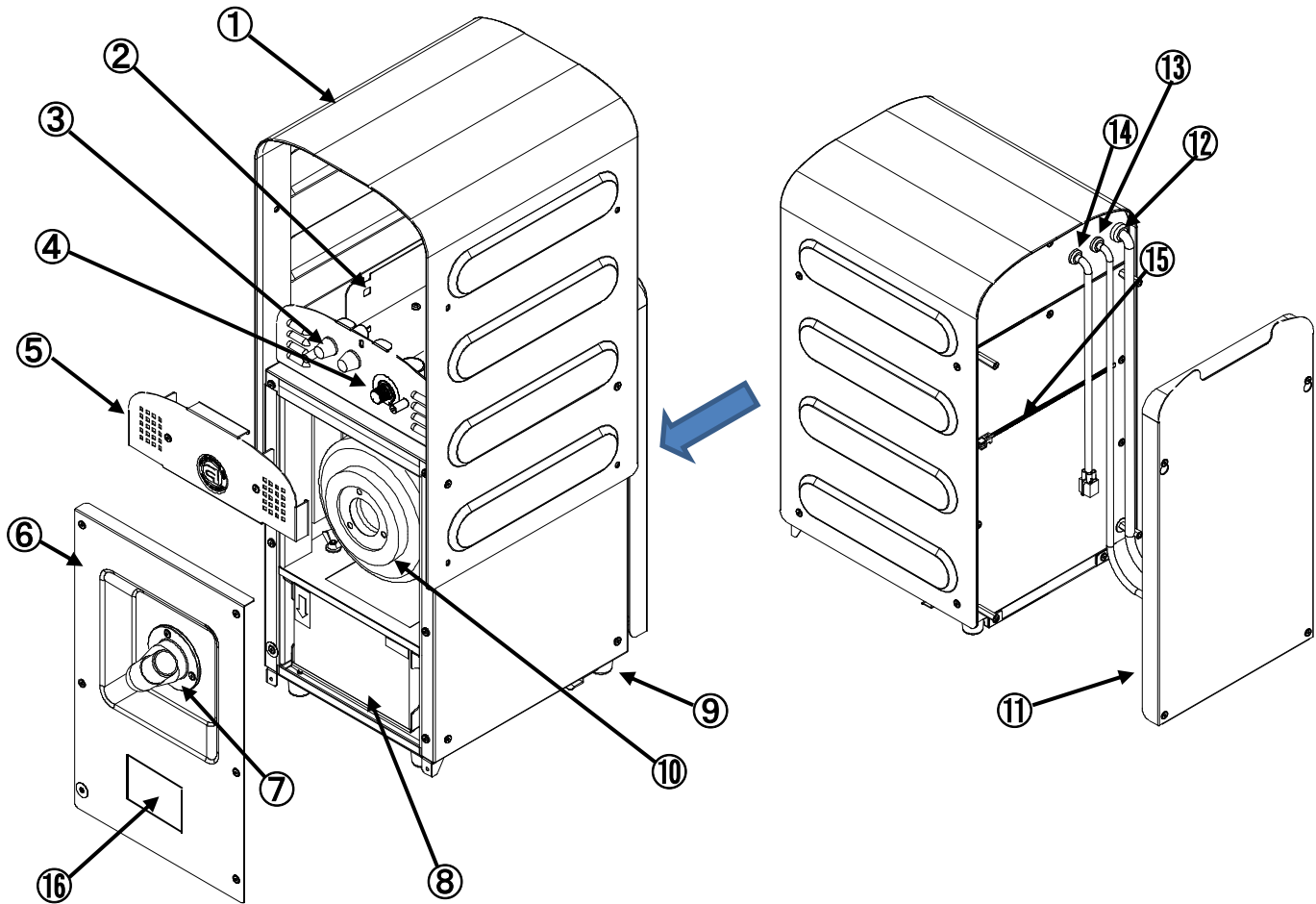
◆歯科用吸引器 TCS-TS 形式:TS2 全体構成



| 番号 | 名称 | 備考 |
|----|------------------|---------------------------------|
| ① | TS2 本体 | 本取付要領書 P. 9 に詳細を記載 |
| ② | CFG セパレータ (TS2) | 本取付要領書 P. 10~12 に詳細を記載 自動排水機能付き |
| ③ | スーパーバイオフィルタ (TS) | 本取付要領書 P. 13 に詳細を記載 |

各部名称

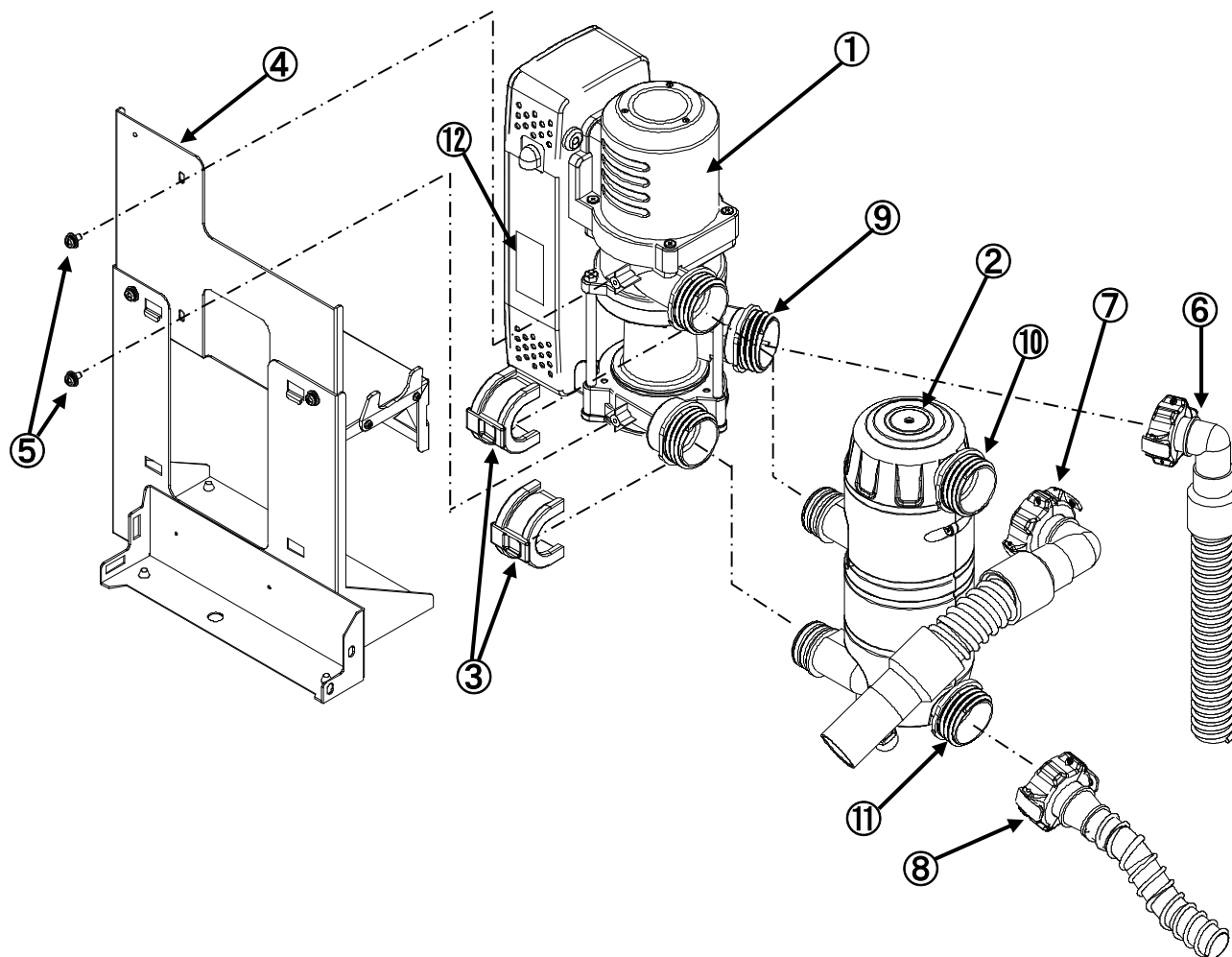
◆TS2 本体



| 番号 | 名 称 | 備 考 |
|----|------------------|------------------------------|
| ① | 防音カバー | |
| ② | 電装ボックス (TS2) | |
| ③ | ヒューズホルダー | TS ヒューズ (10A) × 2 |
| ④ | 吸引性能ポリウム | 調整方法は取扱説明書 P. 16 参照 |
| ⑤ | パネルカバー | |
| ⑥ | 本体パネル | |
| ⑦ | 吸引口フランジ | CFG リリーフバルブ付分離器ホースを接続 |
| ⑧ | スーパーバイオフィルタ (TS) | |
| ⑨ | ゴム脚 | 4 ヶ所 |
| ⑩ | TS ブロワ (100V) | |
| ⑪ | 配線カバー | |
| ⑫ | 電源コード | 3P 配線、設備側の電源 (単相交流 100V) に接続 |
| ⑬ | 操作線 | 2P 配線、ユニット側に接続 |
| ⑭ | 分離器線 | 4P コネクタ、分離器中継線に接続 |
| ⑮ | 結束バンド | |
| ⑯ | 製品銘板 | |

各部名称

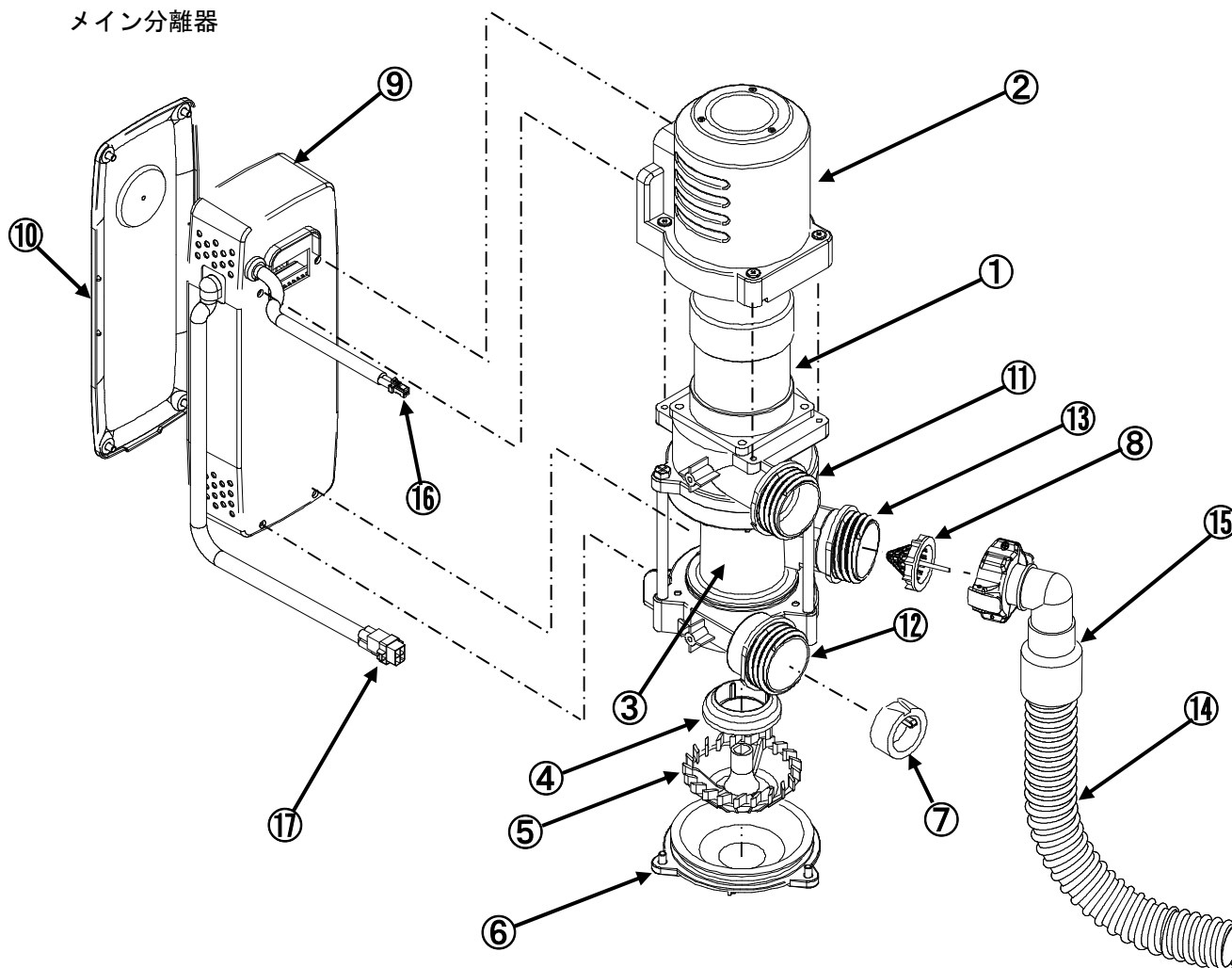
◆CFG セパレータ (TS2)



| 番号 | 名称 | 備考 |
|----|--------------------|------------------------------------|
| ① | メイン分離器 | |
| ② | サブ分離器 | フロート&リミットスイッチ内蔵 |
| ③ | 接続口クリップ | メイン分離器とサブ分離器の抜け防止用 上下2ヶ所 |
| ④ | CFG スタンド | |
| ⑤ | ネジ (M4×8) | CFG スタンドと CFG セパレータ (TS2) の固定用 2 点 |
| ⑥ | CFG 吸引ホース | ユニット側接続口と吸引用配管 (取付場所) に接続 |
| ⑦ | CFG リリーフバルブ付分離器ホース | サクション側接続口と吸引口フランジに接続 |
| ⑧ | CFG 排水ホース | 排水側接続口と排水用配管 (取付場所) に接続 |
| ⑨ | ユニット側接続口 | CFG 吸引ホースを接続 |
| ⑩ | サクション側接続口 | CFG リリーフバルブ付分離器ホースを接続 |
| ⑪ | 排水側接続口 | CFG 排水ホースを接続 |
| ⑫ | 製品銘板 | |

各部名称

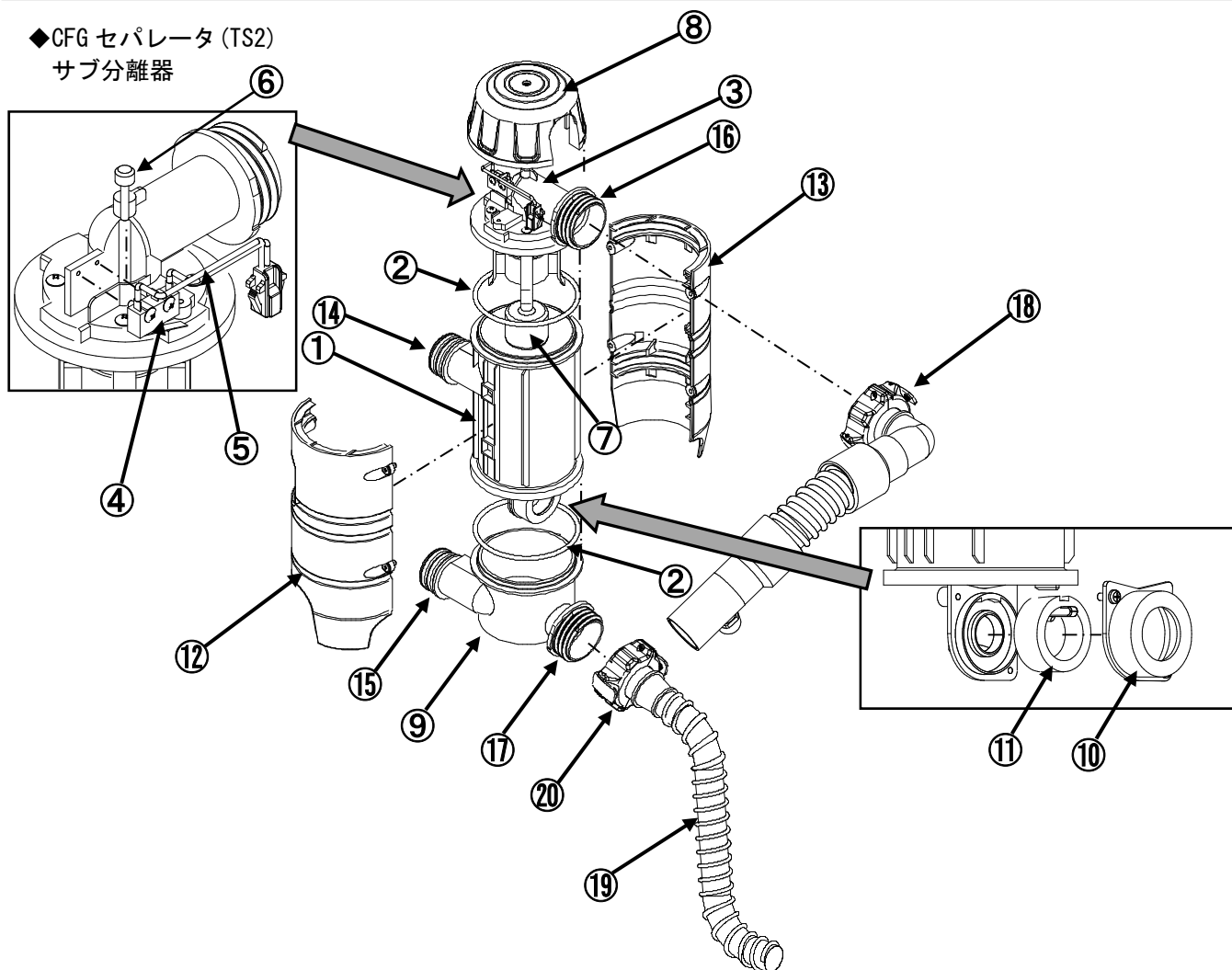
◆CFG セパレータ (TS2) メイン分離器



| 番号 | 名称 | 備考 | |
|----|---------------|--------------------------|--------------------------|
| ① | モータ | DC24V 仕様 | |
| ② | モータカバー | | |
| ③ | ポンプケーシング | Oリングφ45×1、φ55×1、φ75×1 付き | |
| ④ | 内側ガイドB | | |
| ⑤ | インペラ | | |
| ⑥ | 底蓋 | Oリングφ75×1 付き | |
| ⑦ | 逆止弁 (CFG) | | |
| ⑧ | インレットフィルタ | | |
| ⑨ | 電源ボックス (CFG) | 基板内蔵 | |
| ⑩ | 電源ボックス蓋 (CFG) | | |
| ⑪ | サブ分離器接続口 (上) | サブ分離器のメイン分離器接続口 (上) に接続 | |
| ⑫ | サブ分離器接続口 (下) | サブ分離器のメイン分離器接続口 (下) に接続 | |
| ⑬ | ユニット側接続口 | CFG 吸引ホースを接続 | |
| ⑭ | CFG 吸引ホース | φ25 ホース | 吸引用配管 (取付場所) に接続 |
| ⑮ | | エルボホース継手 | Oリングφ25×2 付き、ユニット側接続口に接続 |
| ⑯ | サブ分離器中継線 | 2P コネクタ、リミットスイッチ接続線に接続 | |
| ⑰ | 分離器中継線 | 4P コネクタ、分離器線に接続 | |

各部名称

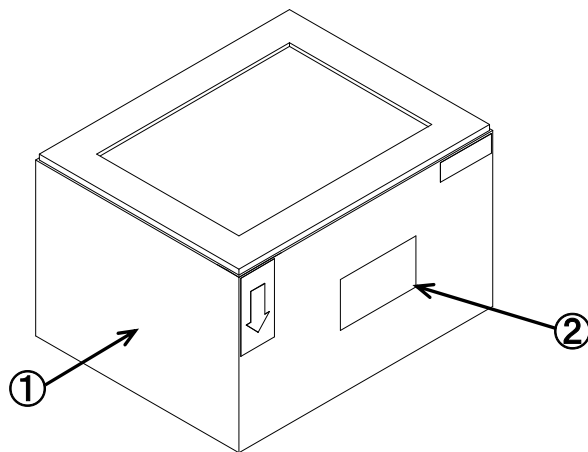
◆CFG セパレータ (TS2) サブ分離器



| 番号 | 名称 | 備考 | |
|----|--------------------|---------------------------------------|------------------------|
| ① | サブ分離器本体 | Oリングφ25×2 付き | |
| ② | Oリングφ70 | サブ分離器本体とサブ分離器蓋の間 サブ分離器本体と排水チャンバーの間 | |
| ③ | サブ分離器蓋 | | |
| ④ | リミットスイッチ | ノーマルクローズタイプ | |
| ⑤ | リミットスイッチ接続線 | 2P コネクタ、サブ分離器中継線に接続 | |
| ⑥ | リミットスイッチプッシャ | | |
| ⑦ | フロート | サブ分離器満水時に吸引停止 | |
| ⑧ | サブ分離器蓋カバー | | |
| ⑨ | 排水チャンバー | | |
| ⑩ | 逆止弁 (CFG) カバー | | |
| ⑪ | 逆止弁 (CFG) | | |
| ⑫ | サブ分離器カバー1 | | |
| ⑬ | サブ分離器カバー2 | | |
| ⑭ | メイン分離器接続口 (上) | メイン分離器のサブ分離器接続口 (上) に接続 | |
| ⑮ | メイン分離器接続口 (下) | メイン分離器のサブ分離器接続口 (下) に接続 | |
| ⑯ | サクシオン側接続口 | CFG リリーフバルブ付分離器ホースを接続 | |
| ⑰ | 排水側接続口 | CFG 排水ホースを接続 | |
| ⑱ | CFG リリーフバルブ付分離器ホース | Oリングφ25×2 付き 吸引口フランジとサクシオン側接続口に接続 | |
| ⑲ | CFG 排水ホース | φ19 ホース | 排水用配管 (取付場所) へ接続 |
| ⑳ | | 排水継手 | Oリングφ25×2 付き、排水側接続口に接続 |

各部名称

◆スーパーバイオフィルタ (TS)



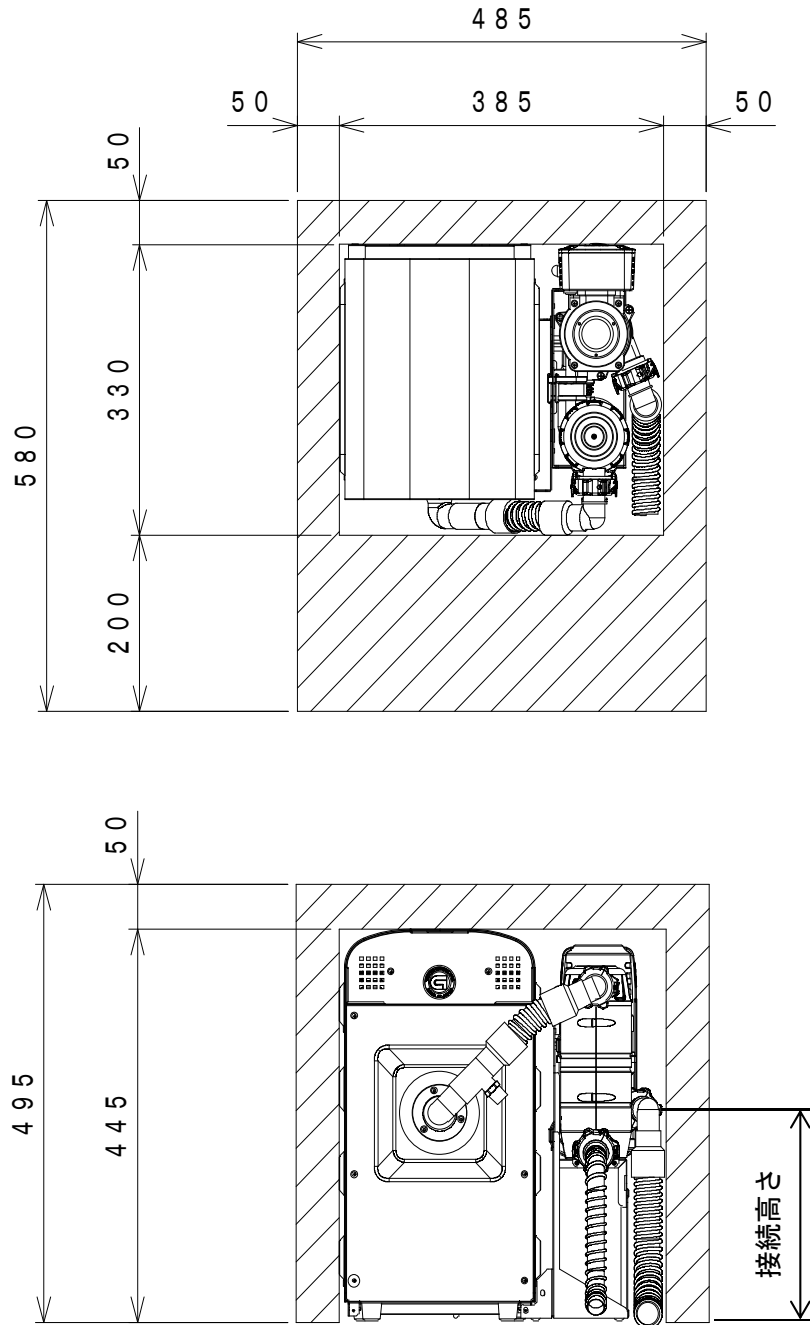
| 番号 | 名 称 | 備 考 |
|----|------------------|-----|
| ① | スーパーバイオフィルタ (TS) | |
| ② | 製品銘板 | |

配置条件

最小設置寸法について

- ・本装置は吸排気のためのスペースに加えて、消耗品の交換のスペースが必要になります。
- ・下記の図の最小設置寸法を参考に設置場所を決定してください。

◆縦置き設置の場合

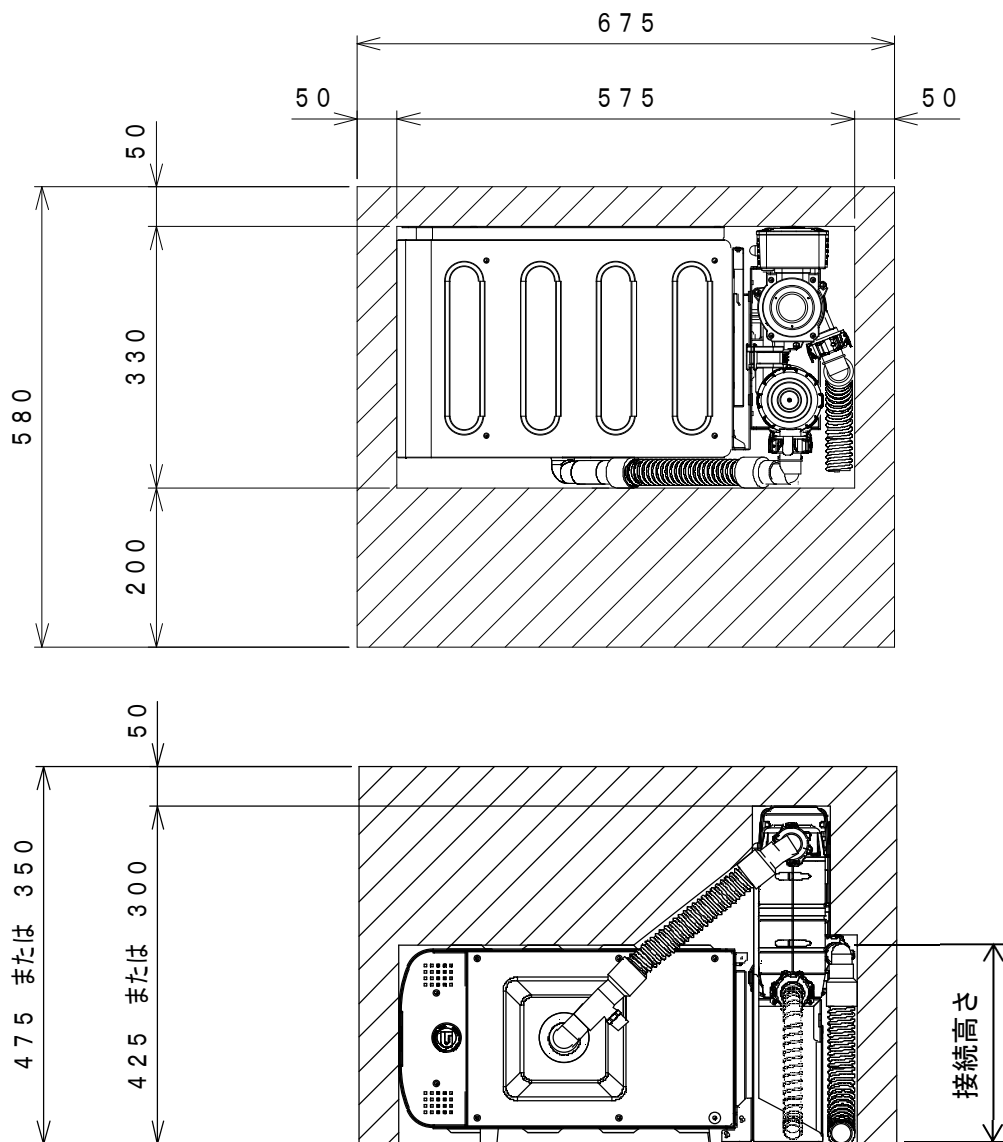


単位：mm

配置条件

◆横置き設置の場合

TS2 本体の防振ゴムの取付位置を付け替えることにより、横置きに設置することも出来ます。
(P. 16～取付方法 参照)



単位：mm

必要換気量について

- ・本装置を設置する際は、本装置 1 台に対して設置する部屋と外気の換気量が $2\text{m}^3/\text{min}$ 以上となるように換気扇をご用意ください。

吸引配管との接続について

- ・密閉時吸引圧が約 16kPa の場合は、吸引配管水平部からユニット側接続口までの高さを 300mm 以内にしてください。
※吸引性能ポリュームを最大にした場合は、 500mm 以内

⚠ 注意

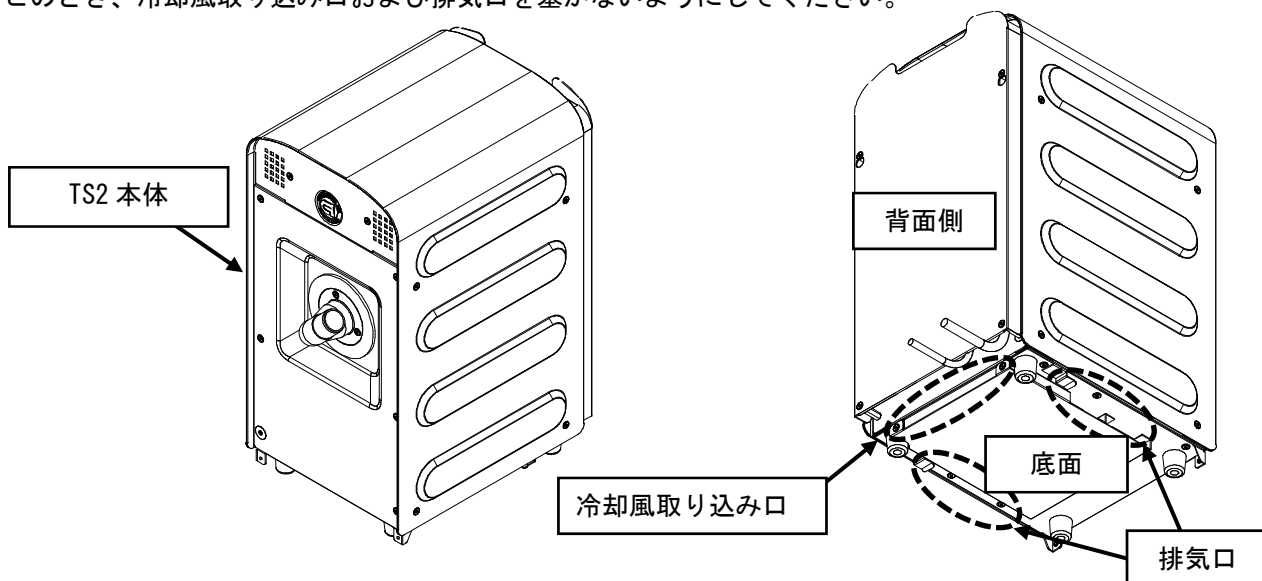
- ・最小設置寸法を確保できていなかった場合や、必要換気量に達していない状態で運転を続けた場合、TS2 本体及び CFG セパレータ (TS2) が熱を持ち、製品の異常や故障に繋がる可能性があります。
- ・吸引配管との接続高さが指定寸法以上の場合、吸引配管内に排水が溜まり、詰まりの原因となります。

手順 1. TS2 本体を配置する

使用工具：プラスドライバー

i. TS2 本体を縦置きで設置する場合

- ①本取付要領書 P. 14 を参照し TS2 本体を配置してください。
このとき、冷却風取り込み口および排気口を塞がないようにしてください。



⚠ 注意

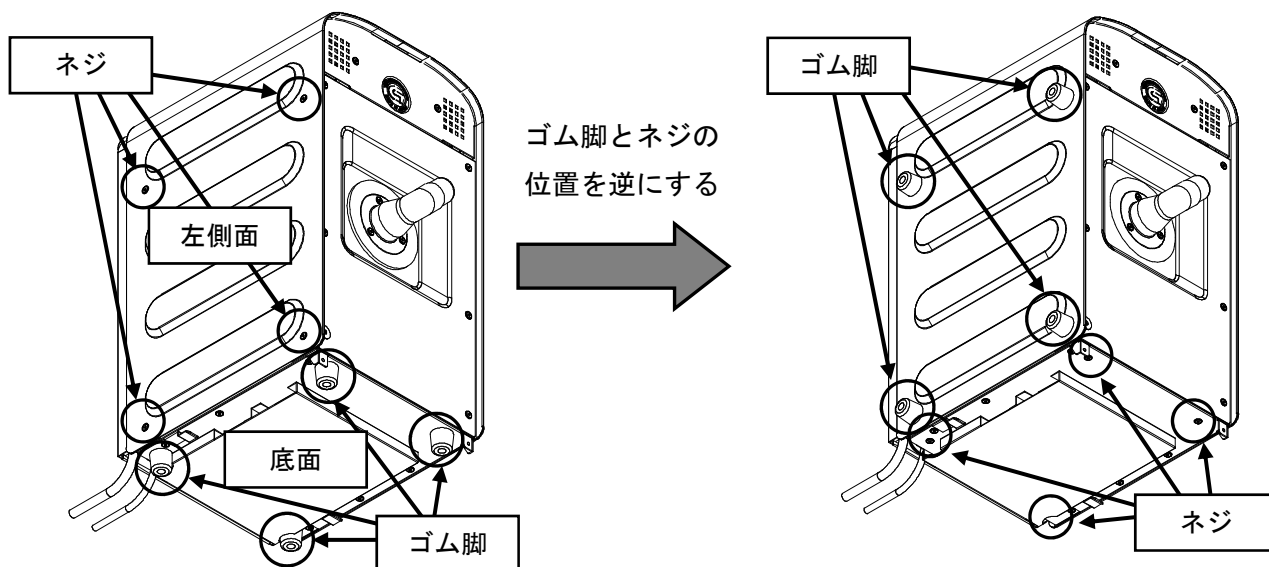


指示

- ・ P. 14 の最小設置寸法を確保してください。
- ・ 冷却風取り込み口および排気口を塞がないようにしてください。

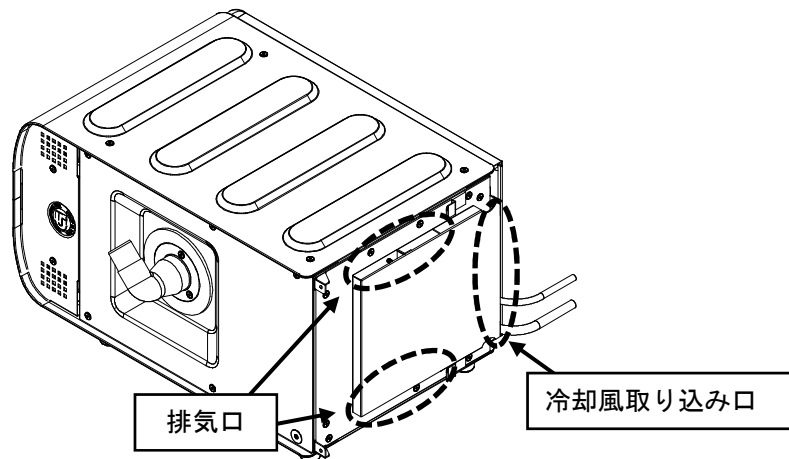
ii. TS2 本体を横置きで設置する場合

- ①TS2 本体に取り付いているゴム脚 4 点と左側面についているネジ 4 点を取り外してください。
- ②取り外したゴム脚とネジを入れ替えるようにして、左側面にゴム脚、底面にネジを取り付けてください。



取付方法

- ③本取付要領書 P. 15 を参照し TS2 本体を配置してください。
このとき、冷却風取り込み口および排気口を塞がないようにしてください。



⚠ 注意



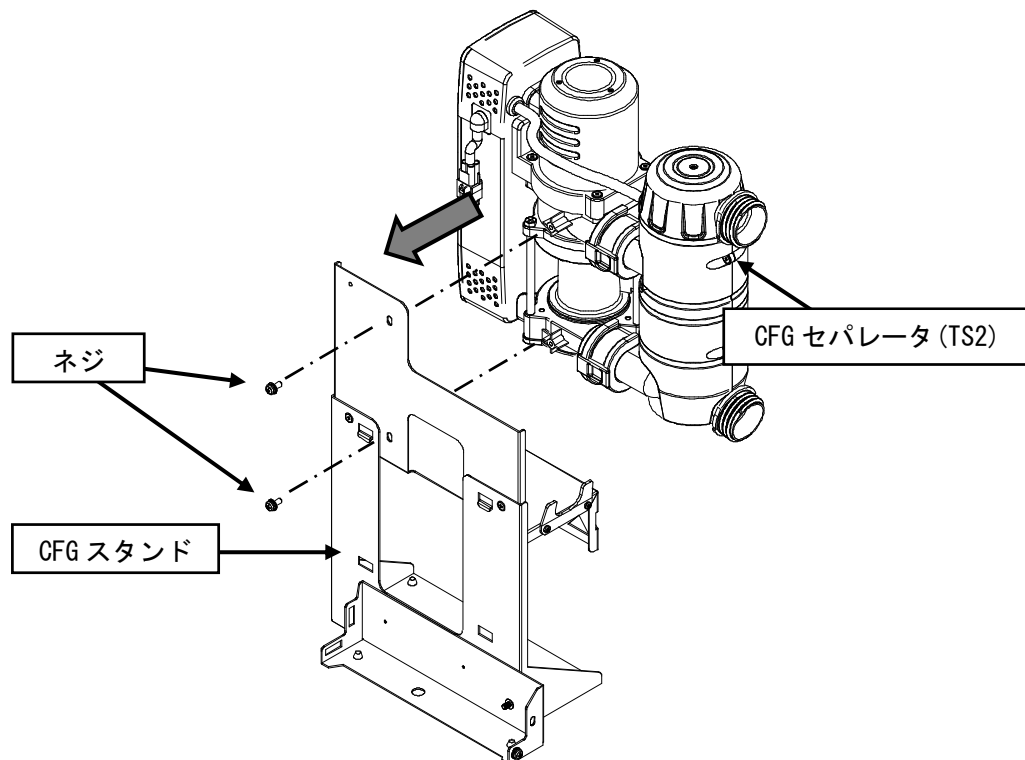
- ・ P. 15 の最小設置寸法を確保してください。
- ・ 冷却風取り込み口および排気口を塞がないようにしてください。

手順 2. CFG スタンドに CFG セパレータ (TS2) を取り付ける

使用工具：プラスドライバー

i. CFG スタンドの高さが通常の場合

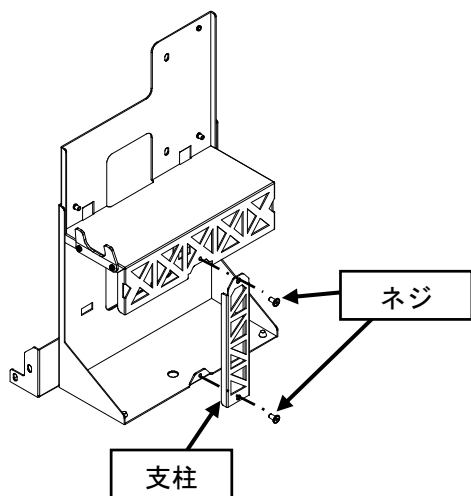
- ①CFG スタンド付属のネジを用いて、CFG スタンドに CFG セパレータ (TS2) を取り付けてください。



取付方法

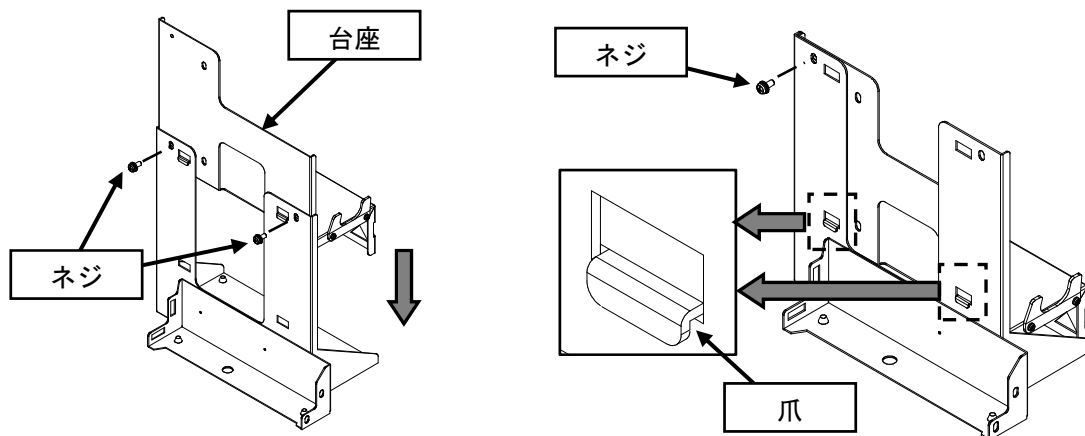
ii. CFG スタンド の高さを低くする場合 (TS2 本体が横置き設置の場合のみ)

①ネジ 2 点を外して、CFG スタンドの支柱を外してください。

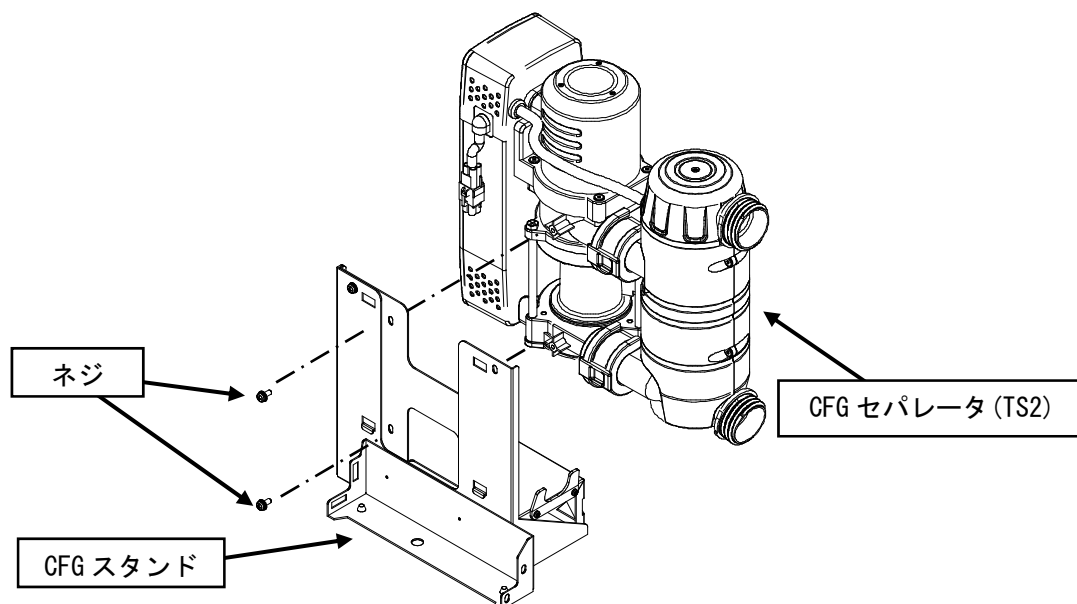


②ネジ 2 点を外して、CFG スタンドの台座を下げてください。

このときに台座の爪を引っ掛けてください。また、ネジ 1 点を取付けてください。



③CFG スタンド付属のネジを用いて、CFG スタンドに CFG セパレータ (TS2) を取り付けてください。

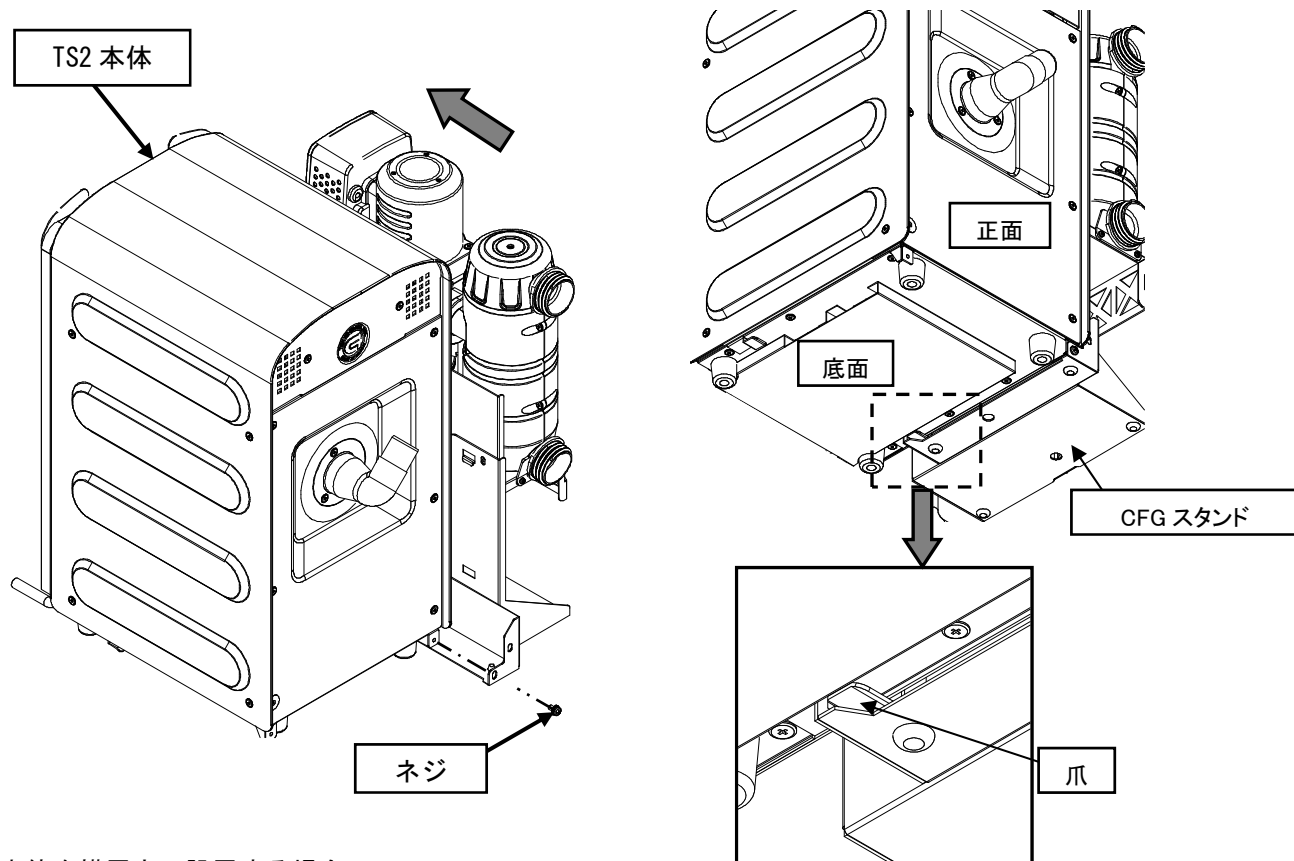


手順 3. TS2 本体に CFG セパレータを取り付ける

使用工具：プラスドライバー

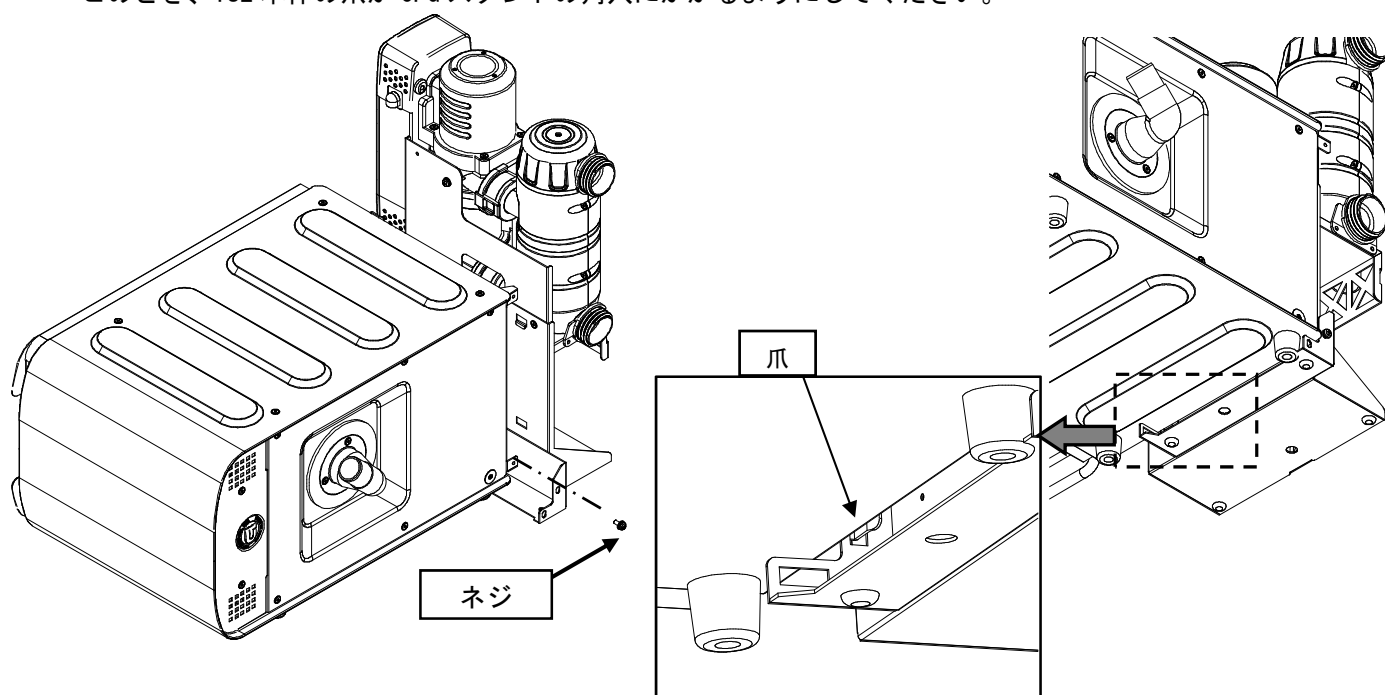
i. TS2 本体を縦置きで設置する場合

- ① CFG スタンド付属のネジを用いて、TS2 本体の右側面に CFG スタンドを取り付けてください。
このとき、TS2 本体の爪が CFG スタンドの角穴にかかるようにしてください。



ii. TS2 本体を横置きで設置する場合

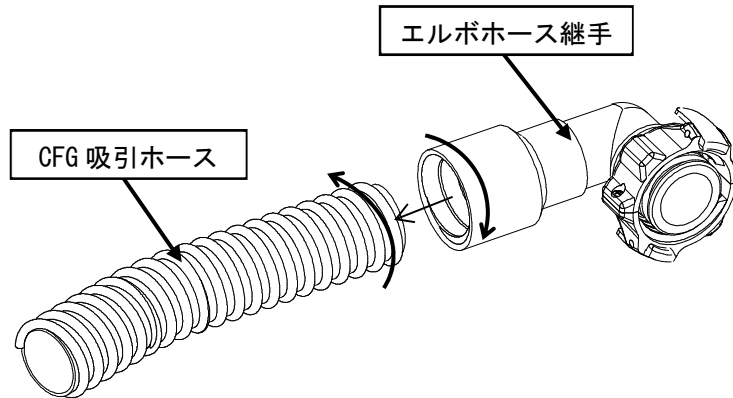
- ① CFG スタンド付属のネジを用いて、TS2 本体に CFG スタンドを取り付けてください。
このとき、TS2 本体の爪が CFG スタンドの角穴にかかるようにしてください。



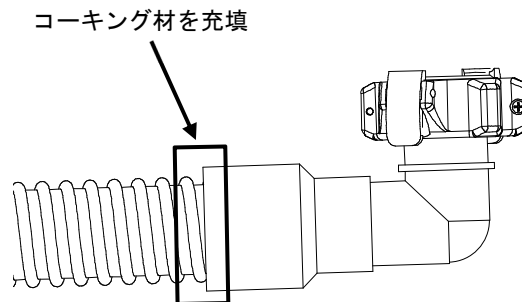
手順 4. CFG 吸引ホースを組立てる

使用工具：カッター、ニッパー

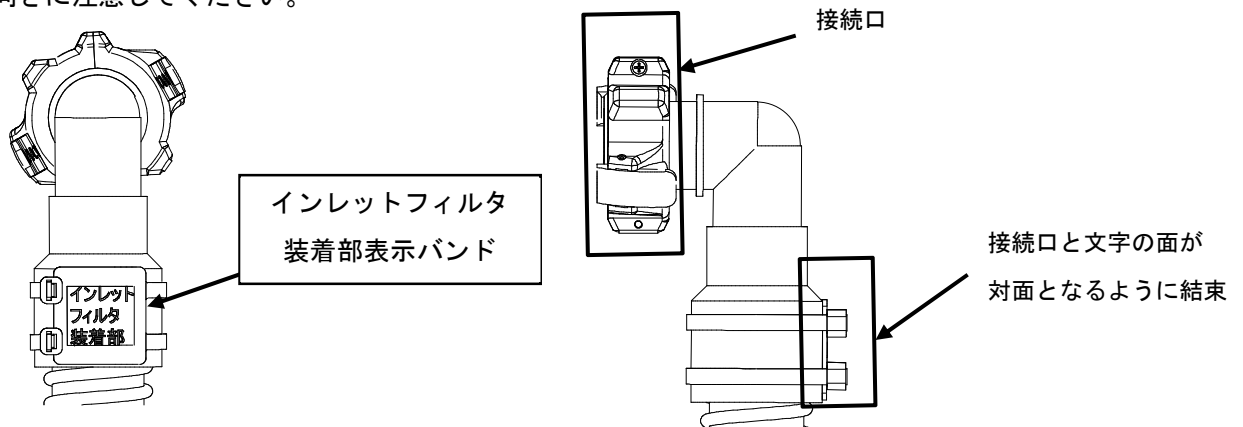
- ①CFG 吸引ホースを必要な長さにカットします。
- ②エルボホース継手を CFG 吸引ホースの奥までねじ込みます。(逆ねじになっています。)



- ③CFG 吸引ホースとエルボホース継手の接続部分(全周)にコーキング材を充填してください。



- ④エルボホース継手にインレットフィルタ装着部表示バンドを結束してください。
 結束後、余った箇所を根元からカットしてください。
 ※取付向きに注意してください。



⚠ 注意



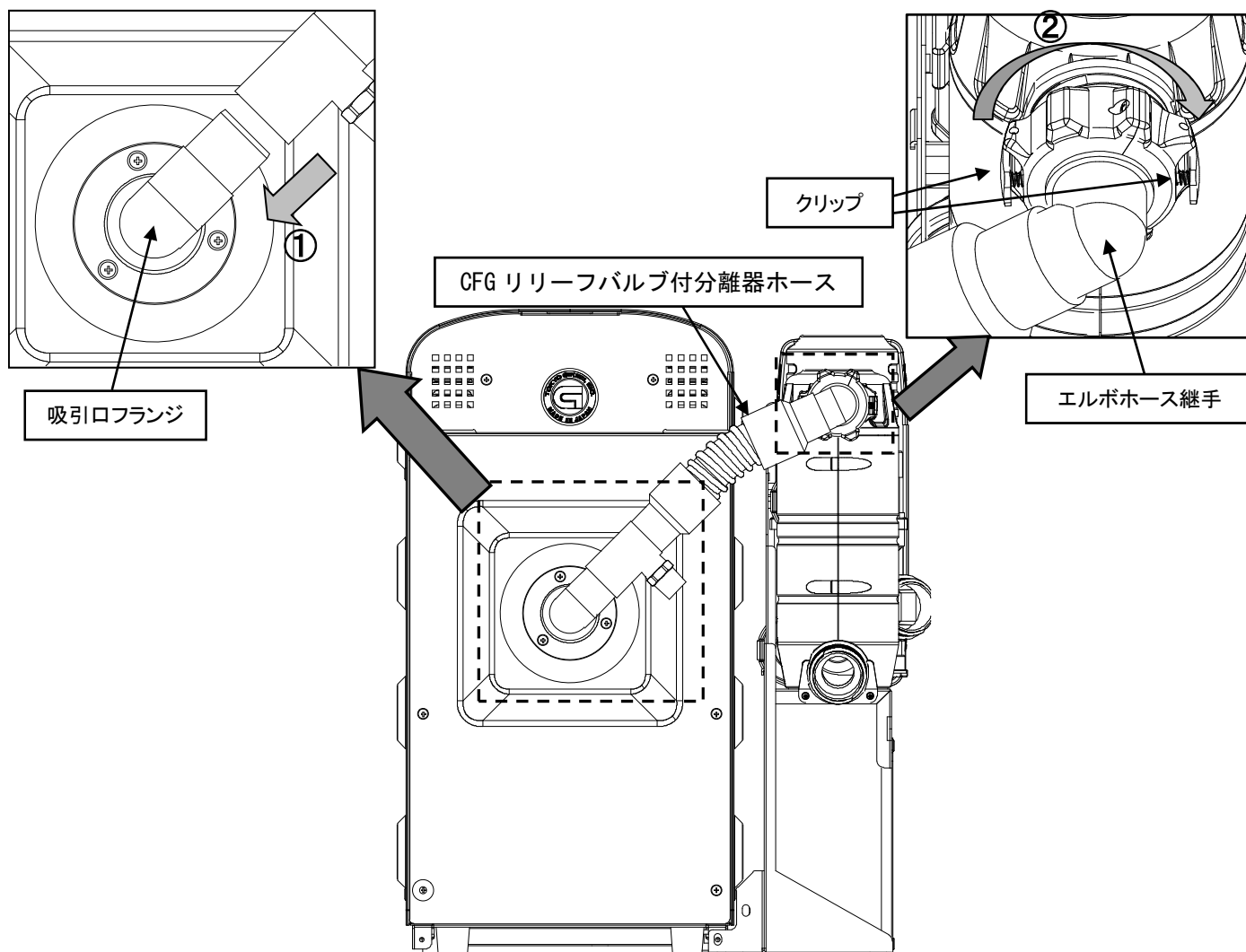
指示

- ・接続部には必ずコーキング材を適量充填してください。
不十分な場合、水漏れが発生する可能性があります。
- ・インレットフィルタ装着部表示バンドの向きに注意してください。

手順 5. CFG リリーフバルブ付分離器ホースを取り付ける

i. TS2 本体を縦置きで設置する場合

- ①CFG リリーフバルブ付分離器ホースを吸引口フランジに取り付けてください。
- ②CFG セパレータ (TS2) にエルボホース継手を一度奥に差し込んでから矢印の方向へ回転させ、CFG リリーフバルブ付分離器ホースを取り付けてください。
このとき、クリップがスプリングによって内側に閉じるまで(ロックがかかるまで)回してください。



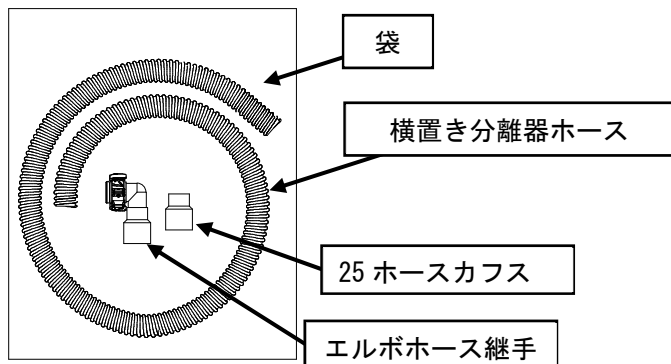
⚠ 注意



- ・ホースはクリップのロックがかかるまで、確実に接続してください。

ii. TS2 本体を横置きで設置する場合

横置き仕様分離器ホースを使用します。

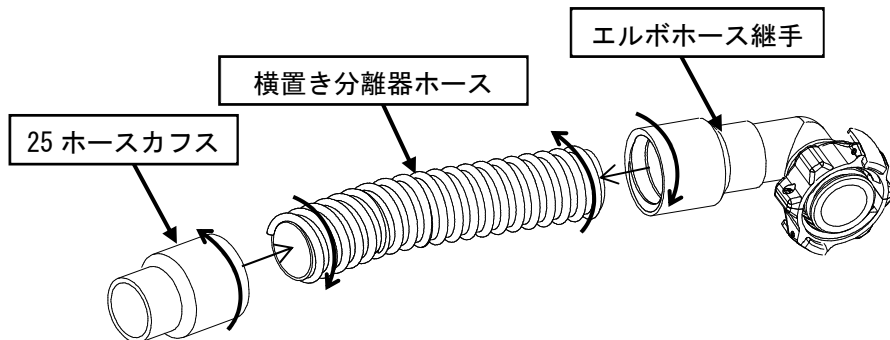


①横置き仕様分離器ホースを 230mm (CFG スタンドの高さが通常の場合) もしくは 160mm (CFG スタンドの高さが低い場合) にカットします。

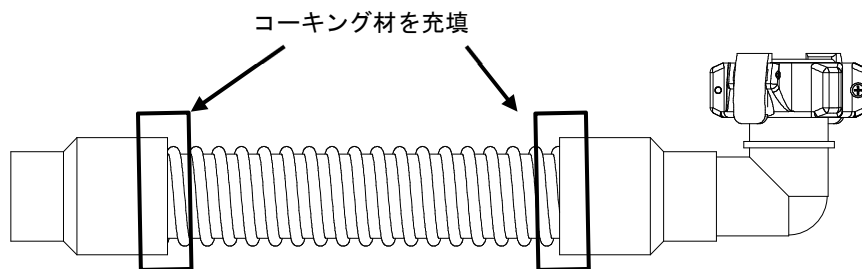
※CFG スタンドの高さは手順 2 を参照してください。

※TS2 本体と CFG セパレータ (TS2) を離して設置する場合、適当な長さにカットしてください。

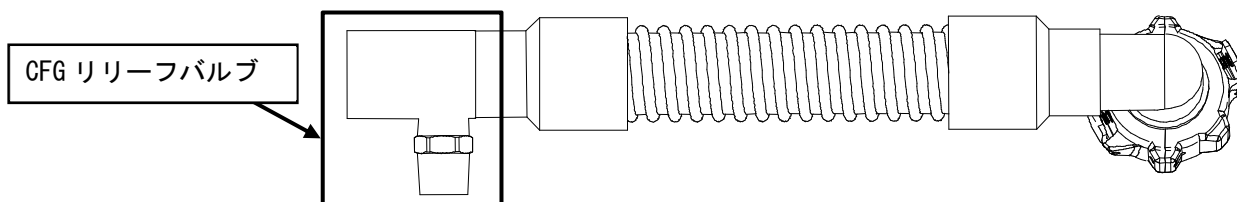
②エルボホース継手と 25 ホースカフスを CFG 吸引ホースの奥までねじ込みます。(逆ねじになっています。)



③横置き仕様分離器ホースとエルボホース継手、25 ホースカフスの接続部分(全周)にコーキング材を充填してください。



④CFG リリーフバルブ付分離器ホースの CFG リリーフバルブを横置き仕様分離器ホースに付け替えてください。



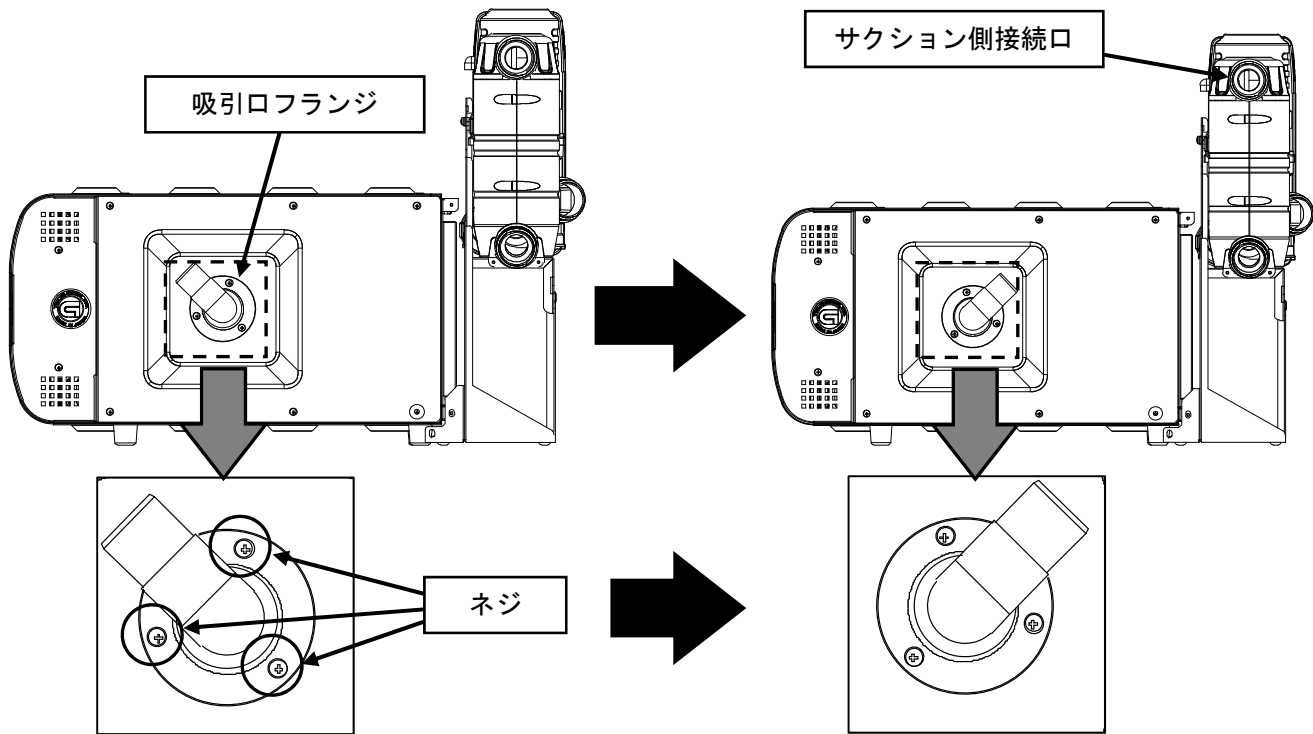
⚠ 注意



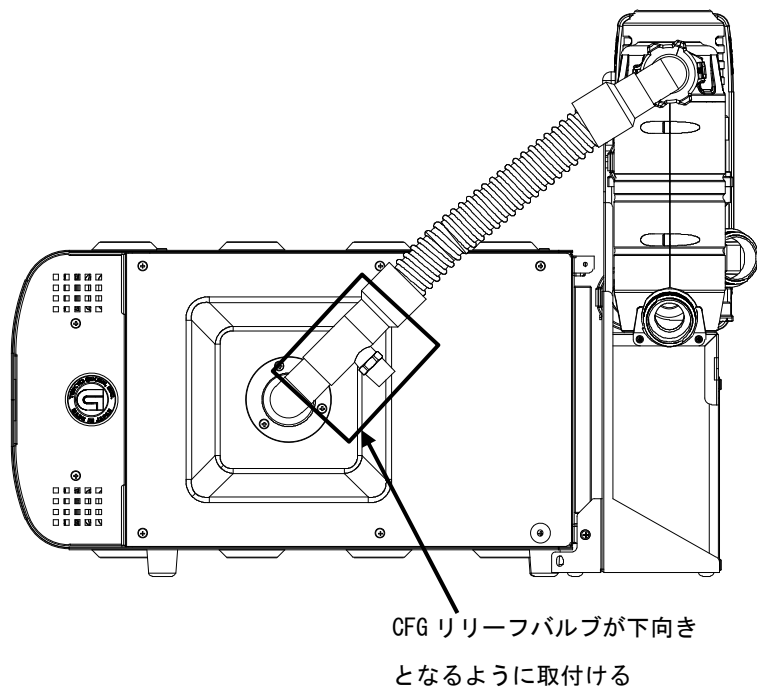
- ・接続部には必ずコーキング材を適量充填してください。
不十分な場合、エア漏れが発生する可能性があります。

取付方法

- ⑤ネジを外して吸引口フランジの角度を CFG セパレータ (TS2) のサクシオン側接続口に向くように変えてください。

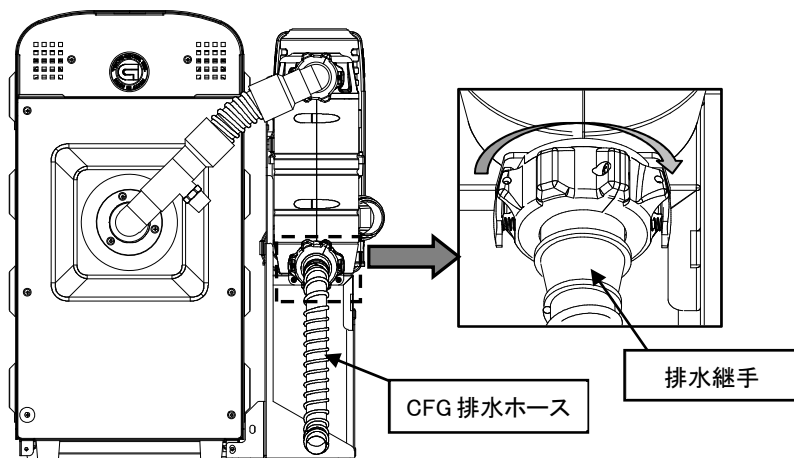


- ⑥「i. TS2 本体を縦置きで設置する場合」に倣って横置き仕様分離器ホースを TS2 本体と CFG セパレータ (TS2) に接続してください。

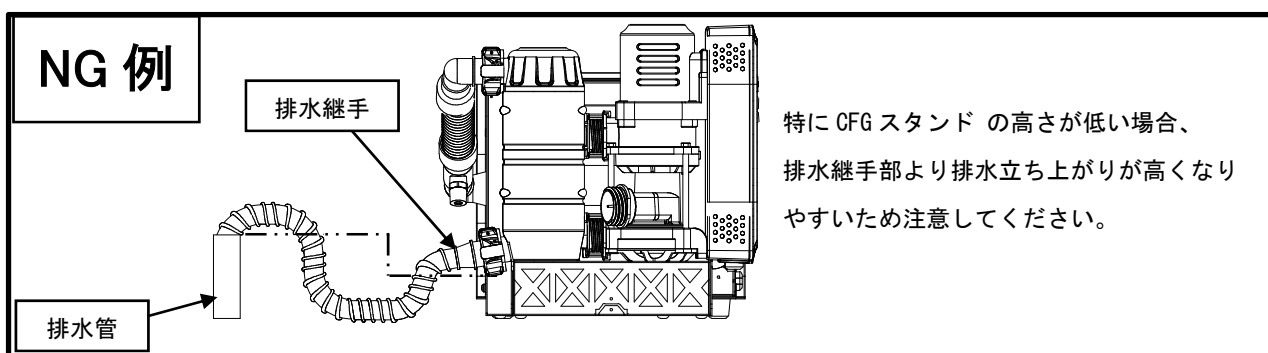
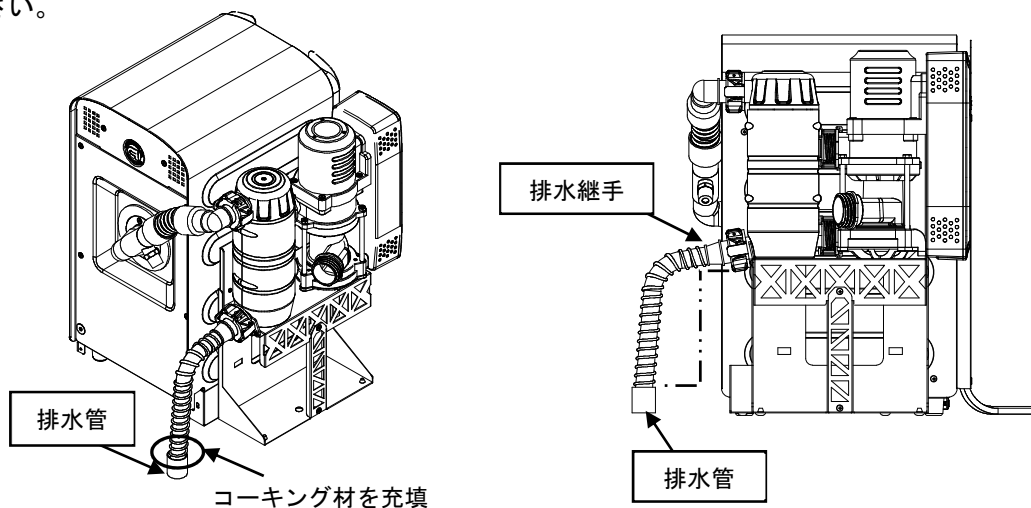


手順 6. CFG 排水ホースを取り付ける

- ①CFG セパレータ (TS2) に排水継手を一度奥に差し込んでから矢印の方向へ回転させ、CFG 排水ホースを取り付けてください。
このとき、クリップがスプリングによって内側に閉じるまで (ロックがかかるまで) 回してください。



- ②CFG 排水ホースを排水管に差し込み、排水管の口元にコーキング材を充填してください。
CFG セパレータ (TS2) 内に排水が溜まる可能性があるため、排水継手部より排水管の立ち上がりを低くしてください。



⚠ 注意

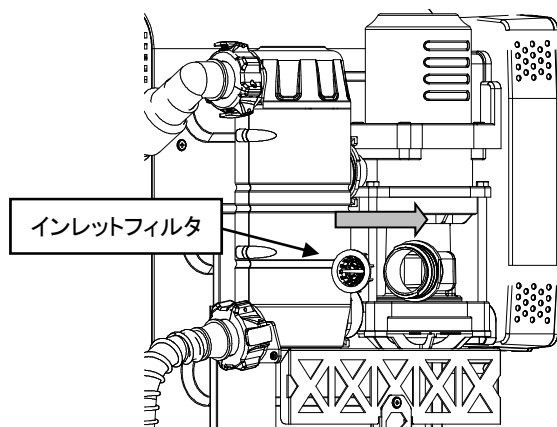


指示

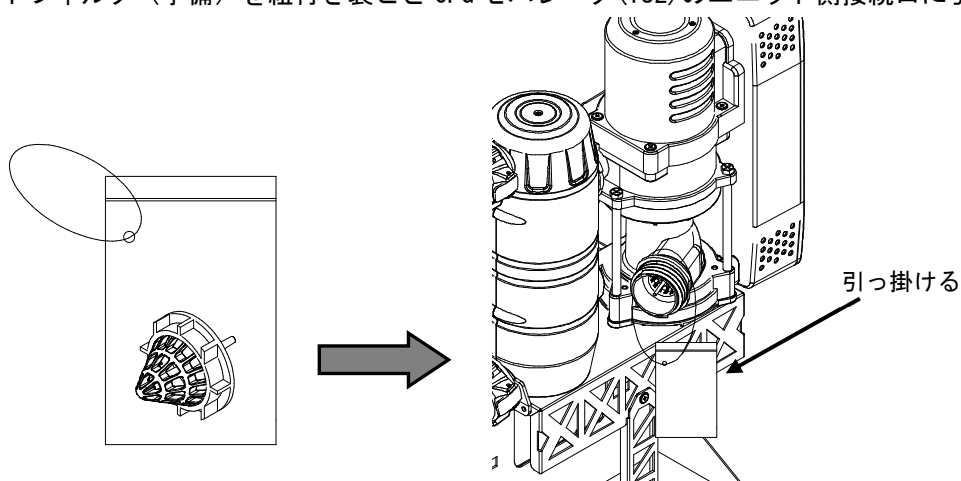
- ・ホースはクリップのロックがかかるまで、確実に接続してください。
- ・排水継手部より排水立ち上がりが低い位置であることを確認してください。
- ・排水管と CFG 排水ホースの接続部には必ずコーキングを施してください。水漏れが発生する可能性があります。

手順 7. CFG 吸引ホースを取り付ける

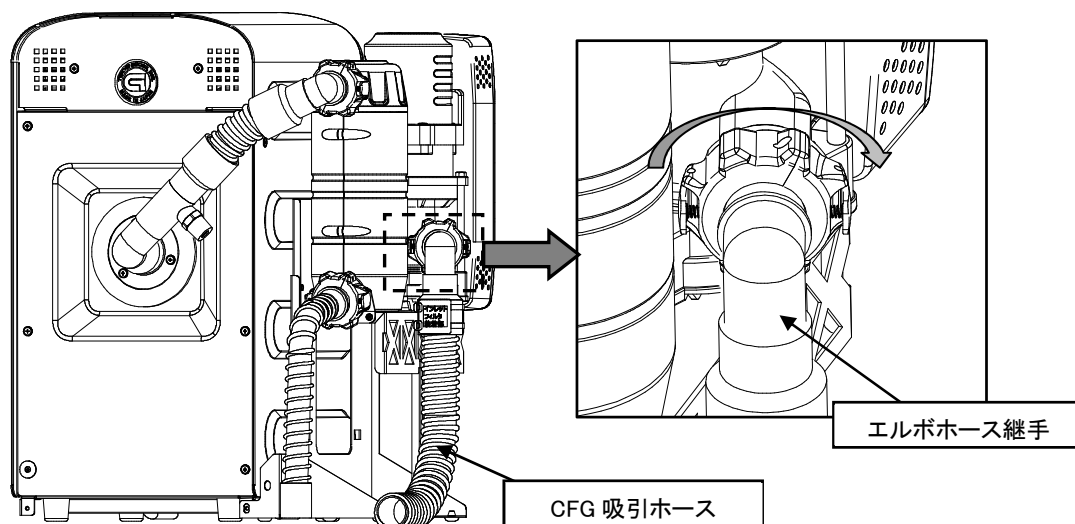
①紐付き袋からインレットフィルタ 1 個を取り出し、挿入してください。



②インレットフィルタ（予備）を紐付き袋ごと CFG セパレータ (TS2) のユニット側接続口に引っ掛けてください。



②CFG セパレータ (TS2) にエルボホース継手を一度奥に差し込んでから矢印の方向へ回転させ、CFG 吸引ホースを取り付けてください。
このとき、クリップがスプリングによって内側に閉じるまで（ロックがかかるまで）回してください。



⚠ 注意



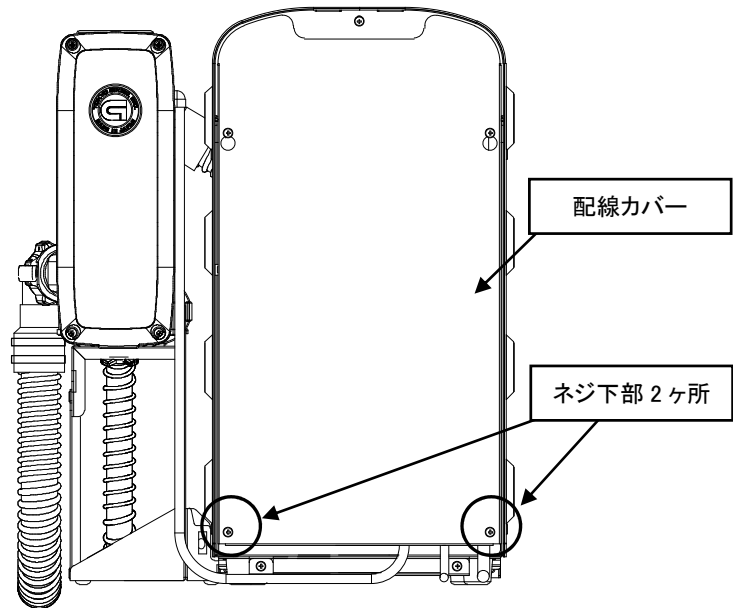
指示

- ・ホースはクリップのロックがかかるまで、確実に接続してください。
- ・インレットフィルタの取り付け忘れに注意してください。
- ・吸引配管との接続高さが指定寸法以上の場合、吸引配管内に排水が溜まり、詰まりの原因となります。

手順 8. 配線カバーを取り外す

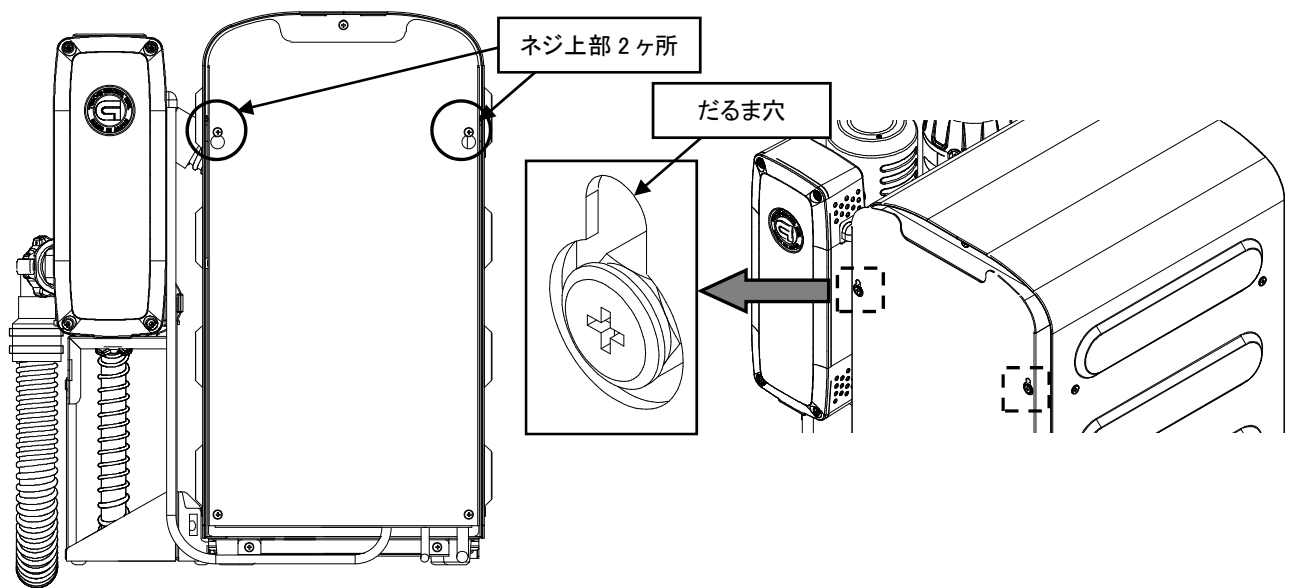
使用工具: プラスドライバー

①配線カバーのネジ下部 2ヶ所を外してください。



②配線カバーのネジ上部 2ヶ所を緩めてください。

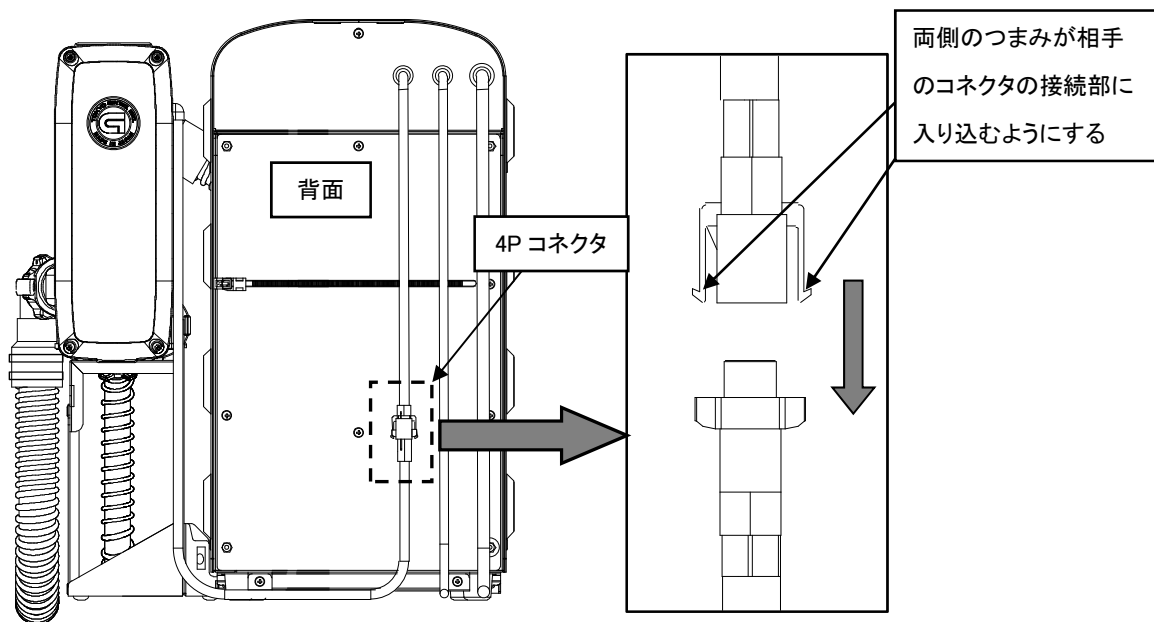
③配線カバーを上側へスライドし、だるま穴を通して、配線カバーを取り外してください。



取付方法

手順 9. 分離器線の 4P コネクタを取り付ける

①分離器線の 4P コネクタを接続してください。



⚠ 注意

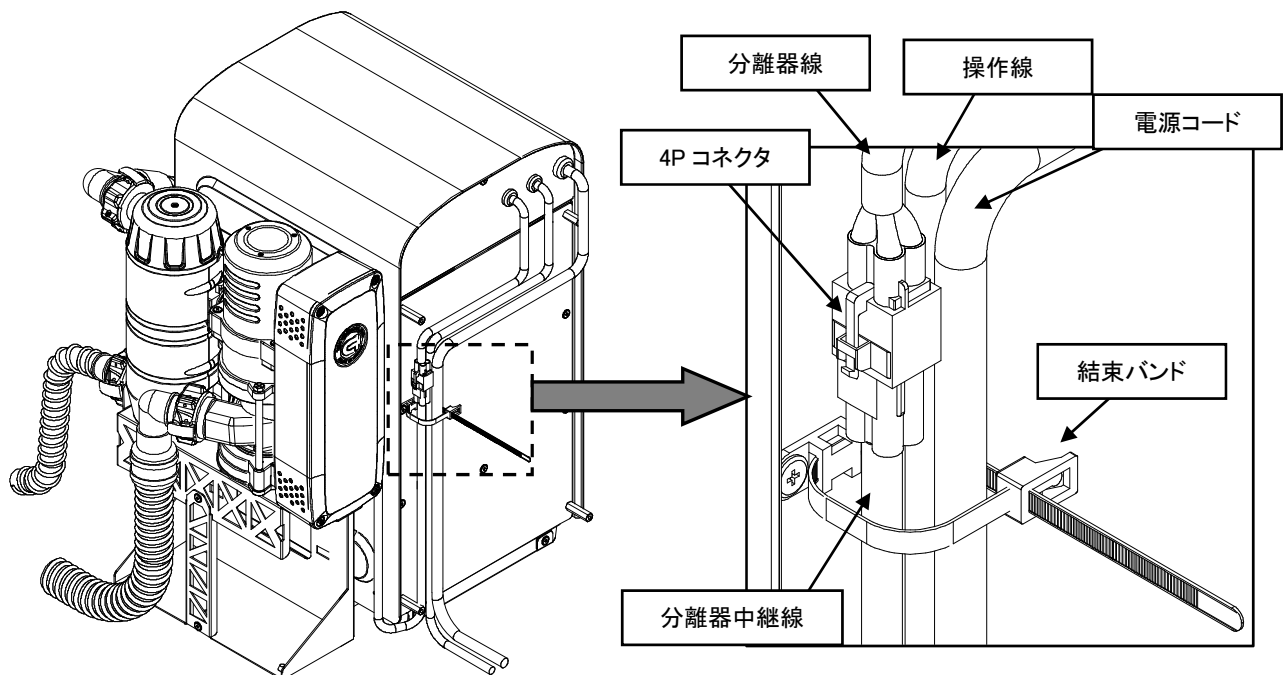


指示

・コネクタを奥までしっかりと入れてください。

手順 10. 結束バンドで配線をまとめる

①結束バンドで電源コード、分離器中継線、操作線をまとめ、整えてください。



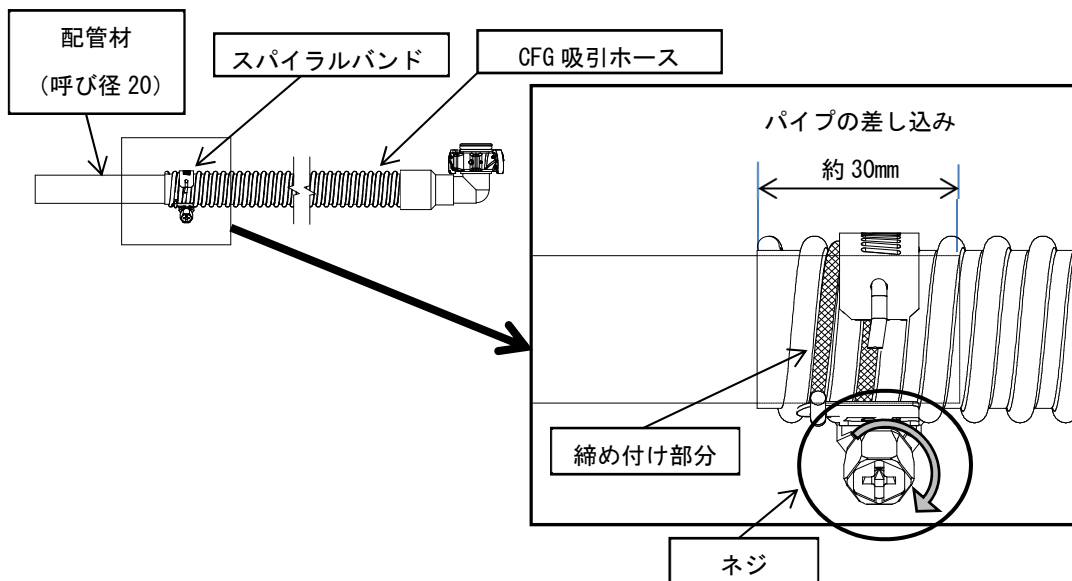
手順 11. CFG 吸引ホース及び操作線を接続する

使用工具：プラスドライバー、圧着工具

TS2 を診療用ユニット 1 台に接続する場合と、診療用ユニット 2 台に接続する場合をそれぞれ i、ii に示します。
 ※CFG 吸引ホースは配管材呼び径 20 の外径に接続可能です。
 ※TS2 から出ている操作線は直流 24V です。

i. 診療用ユニット 1 台に接続する場合

- ①CFG 吸引ホースを適切な長さにカットし、配管材（呼び径 20）と接続してください。
- ②配管材を CFG 吸引ホースに 30mm 程度差し込み、その上からスパイラルバンドで固定してください。
 ※スパイラルバンドの締め付け部分を CFG 吸引ホースの溝に合わせてネジを時計回りに回していくと CFG 吸引ホースが締め付けられていき固定されます。



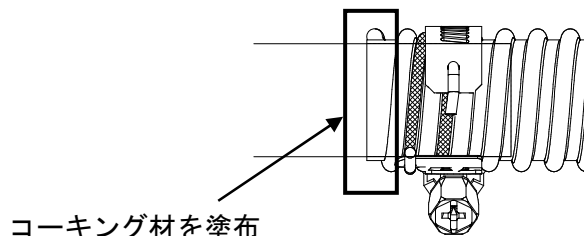
⚠ 注意



指示

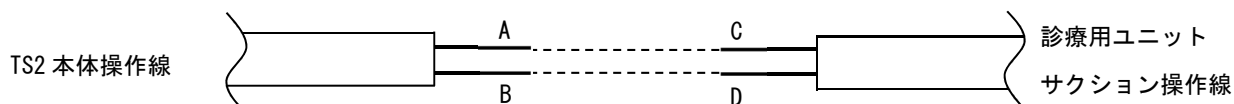
- ・配管材と CFG 吸引ホースが外れないようにしっかりとスパイラルバンドを締め付けて固定してください。
 ただし、締め付けすぎると CFG 吸引ホースが破けてしまう場合があるので注意してください。

- ③CFG 吸引ホースと配管材との接続部分のところ（全周）にコーキング材を塗布してください。



- ④TS2 の操作線と診療用ユニットからのサクション用操作線を接続してください。
 配線同士を絶縁被覆付閉端接続子で繋いでください。
 下記の図のように A 線+C 線、B 線+D 線で結線してください。
 ※診療用ユニットのサクション操作線（無電圧接点）

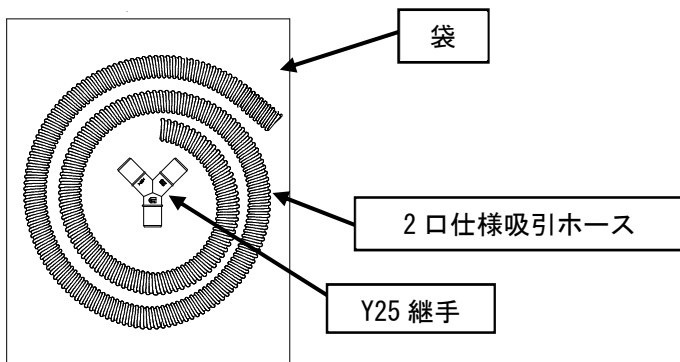
DC24V
 ※取扱説明書の P. 38 を参照



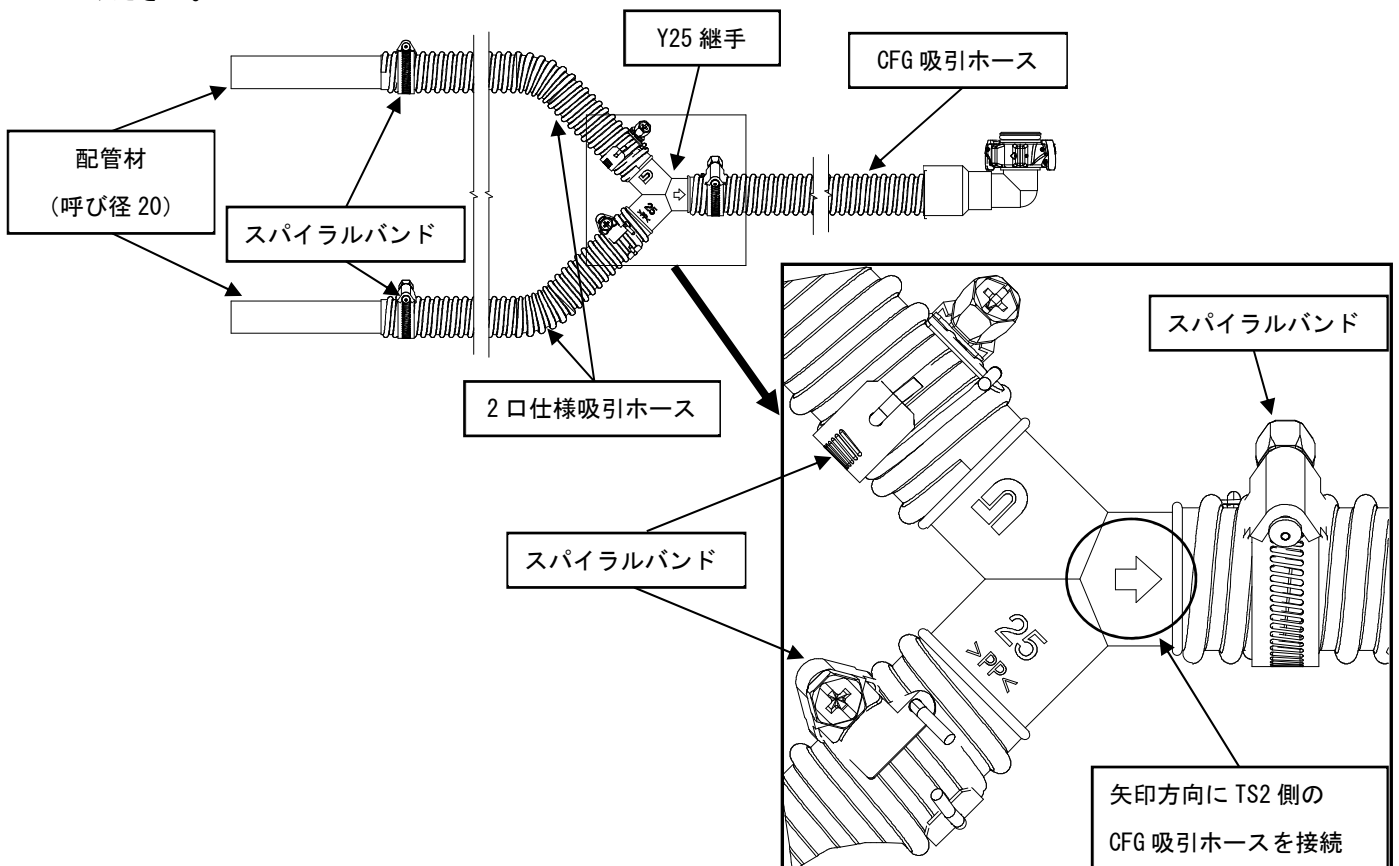
取付方法

ii. 診療用ユニット 2 台に接続する場合

2 口仕様吸引ホースを使用します。



- ①CFG 吸引ホースを適切な長さにカットし、Y25 継手を接続してください。
- ②Y25 継手に付属の 2 口仕様吸引ホースを適切な長さにカットし、配管材と接続してください。
- ③配管材を 2 口仕様吸引ホースに 30mm 程度差し込み、その上からスパイラルバンドで固定してください。
※スパイラルバンドの締め付け部分を 2 口仕様吸引ホースの溝に合わせてネジを時計回りに回していくと 2 口仕様吸引ホースが締め付けられていき固定されます。
※Y25 継手に記載されている矢印方向部分に TS2 側の CFG 吸引ホースを接続してください。
※Y25 継手の差し込み部分に CFG 吸引ホースを 30mm 程度差し込み、その上からスパイラルバンドで固定してください。



⚠ 注意

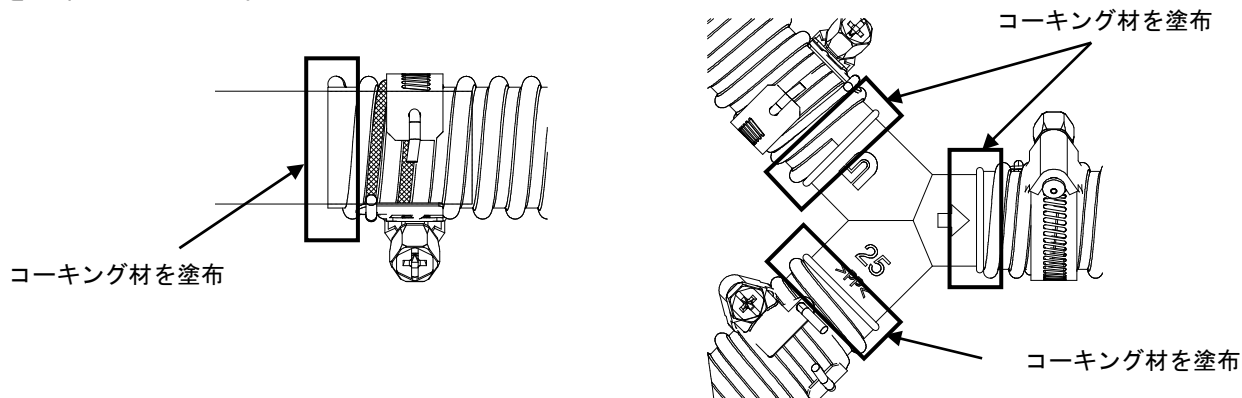


指示

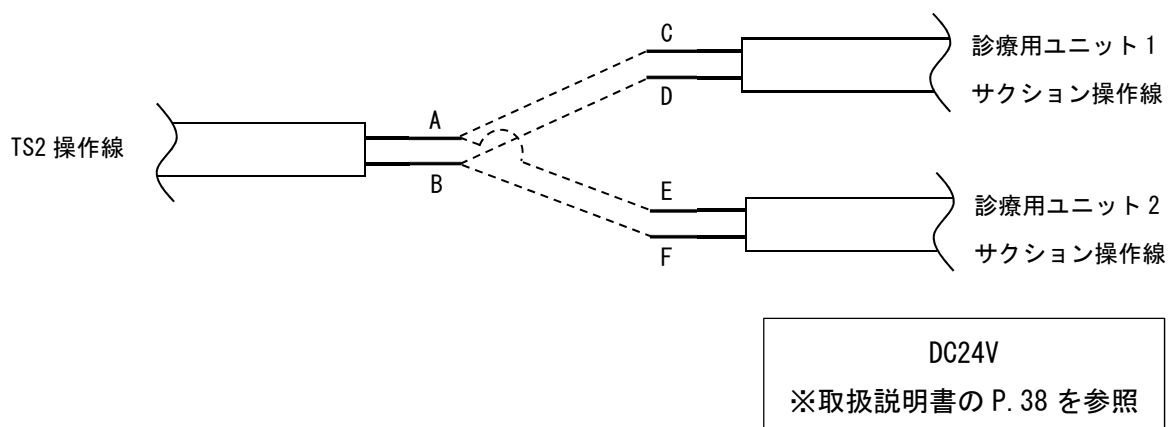
- ・配管材と CFG 吸引ホースが外れないようにしっかりとスパイラルバンドを締め付けて固定してください。
ただし、締め付けすぎると CFG 吸引ホースが破けてしまう場合があるので注意してください。

取付方法

- ④2 口仕様吸引ホースと配管材との接続部分・CFG 吸引ホースと Y25 継手との接続部分のところ(全周)にコーキング材を塗布してください。



- ⑤TS2 の操作線と診療用ユニット 1 と診療用ユニット 2 からのサクシオン用操作線を接続してください。
配線同士を絶縁被覆付閉端接続子で繋いでください。
下記の図のように A 線+C 線+E 線、B 線+D 線+F 線で結線してください。
※診療用ユニットのサクシオン操作線（無電圧接点）



手順 12. 電源コードを接続する

- ①単相交流 100V コンセントに TS2 の電源プラグを挿し、設備側の電源を ON にしてください。

手順 13. 動作確認をする

- ①診療用ユニット側のサクシオン操作線を稼働させて TS2 本体及び CFG セパレータ (TS2) が正常に稼働することを確認してください。
必要に応じて吸引性能ボリュームの調整(取扱説明書 P. 16)を行ってください。

手順 14. 配線カバーを取付ける

使用工具：プラスドライバー

- ①手順 8 とは逆の手順で配線カバーを取付けてください。

⚠ 注意



指示

- ・配線を挟み込まないように注意してください

| | 歯科用吸引器 TCS-TS 型式:TS2 | |
|---|---|----------------------|
| 電源電圧 | 単相交流 100V | |
| 電流 | 7.2A | |
| 消費電力 | 0.65kW | |
| 周波数 | 50Hz/60Hz | |
| TS ヒューズ | 交流 250V 10A B種溶断型 | |
| 電撃に対する保護の形式 | クラス I 機器 | |
| 作動モード | 連続 | |
| 空気・可燃性麻酔ガス、または酸素 または亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス のある中での使用の安全性の程度 | 空気・可燃性麻酔ガス、または酸素または亜酸化窒素・ 可燃性麻酔ガスのある中での使用に適さない機器 | |
| 風量・風圧 (吸引性能ポリューム最大値) | 0.3m ³ /min の時 16.0 kPa | |
| 性能可変(密閉時吸引圧) | <50Hz> 5~17.5 kPa | <60Hz> 0~17.5 kPa |
| 最大排水流量 | 18.8L/min | |
| 外観寸法 W×D×H (ホース・配線を含まない) | 385mm×330mm×445mm | |
| 質量 | 21.1kg | |
| 同時使用最大口数 | 2口 | |

測定値は、当社規定方法によるもので保証値ではございません。
仕様は予告なく変更する場合がございます。取り付け時にご確認ください。

歯科用セントラルサクシオンシステムの専門メーカー



URL: <http://www.tokyogiken.com> E-mail: TG@tokyogiken.com

本 社 : 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
TEL : 03-3703-5581(代) FAX : 03-3705-1760

大 阪 支 店 : 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5
TEL : 06-6368-8877 FAX : 06-6368-8876

仙 台 営 業 所 : 〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4
TEL : 022-371-9651 FAX : 022-371-9653

名 古 屋 営 業 所 : 〒465-0007 名古屋市名東区香坂1001
TEL : 052-776-3355 FAX : 052-776-3356

福 岡 営 業 所 : 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7
TEL : 092-411-0377 FAX : 092-411-0376

横 浜 工 場 : 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

TGYA1-01V-15001F
TGD001799-00-01